

'71



洋装服飾専門商社(株)三景・東京都千代田区岩本町3-2-10 〒101

スポーツ審判ハンドブック

編集 日本体育大学教授 佐々木吉蔵 東海大学教授 西山常夫 日本大学助教授 永嶋正俊 東京大学助教授 豊田博

●スポーツの審判技術とルールを網羅した

試合を裁く審判は十分な審判技術を身につけ、公平・厳密・的確に試合を進行させなければならない。本書は24種目のスポーツのルールと審判の技術を事典形式で解説し、ゲームの進行に沿って具体的にジャッジできるよう、初歩から第一線級の審判技術を網羅した。校内競技大会の審判にも十分役に立ち、体育・スポーツ関係者のみならず、プレーヤーにも必携のハンドブックである。

菊判・八二四頁・上製函入 ¥2800

構成・内容

【総論】審判に関する基本的事項・及各种目に共通する一般的事項

【各論】各スポーツ種目の審判法を競技に即して具体的に記述

I 序論 スポーツ種目の特性から生ずる審判に関する基本的事項 ①種目特有の審判概論 ②審判の構成と任務 ③審判のゼスチュア ④審判の服装 ⑤競技時間など

II 試合前の審判員の任務 試合前に、審判員が心がけ、準備すべきものを具体的に記述。

III 試合の進行 各競技種目の審判法を競技の特性をおいながら、プレーとルールを関連させて解説

IV 試合終了後の審判の任務 試合終了後に審判員しなければならない事を記述。

V 付録 ①審判員制度の紹介 ②重要な審判技術および知識の理解に役立つよう設問を付し解答を与える。

目 次

バレーボール／バスケットボール／ハンドボール／サッカー／ラグビー／野球／ソフトボール／テニス／卓球／バドミントン／アイスホッケー／陸上競技／水泳(競泳・飛込)／水球／体操／スキー／スケート／柔道／剣道／すもう／レスリング／ボクシング／弓道／なぎなた

東京・神田錦町3-24

大修館書店

振替/東京40504

〈内容見本呈〉

日本、宿願の五輪出場権握る

新たな目標へ一歩踏み出す

勝った。日本は宿願のミュンヘンオリンピックアジア地域代表権をしっかりとその掌中におさめた。ナショナルチームの皆さん、ごころろさま。全国の関係者、ファンの皆さん、御協力、御声援ありがとうございました。

ブラスパンドの勇壮なマーチにのって場内を一周する16人の若者たちの胸中去来したのはなんであらう。

責任をまっとうした安ど感、苦勞をともにしながら途中で去っていったかつてのナショナルチームの仲間、地方合宿で声援を送ってくれた中学生の瞳。

栄光の行進に向かって降る五色のテープを払いのけようともせず

	日本	イスラエル	韓国	P	得点	失点
①日本	15-4 18-7	20-9 21-7	8	74	27
②イスラエル	4-15 7-18	13-15 22-15	2	46 (-17)	63
③韓国	9-20 7-21	15-13 15-22	2	46 (-30)	76

Pはポイント、勝ち2点引き分け1点負け0点

むしろうつむきかげんだ。

胸をはれ日本。誰もがこう叫びたかった。

しかし、たとえ誰がこの行列に加ったとしても、静かに自分の足もとをみながらにちがいない。大事な一歩であった。貴重な一歩であった。

へき頭飾る会心の速攻

日本の出足は快調。この大会のヤマ場とみられたイスラエルとの1回戦(11月14日・東京体育館)開始50秒、ディフェンスの先頭に立った藤中がイスラエルの横パスをカットし中央を突破、右から野田が猛然と走りこむ。いいパスが渡った。野田が突き刺さるようなシュートを決めた。目のさめるような速攻である。

木野が、近森が、飯田が、有永が、本田がコート上で一斉に手を叩いた。とびあがった。

速いプレーを身上とする日本がへき頭で会心の一発を決めたことが、その後の戦局にどれほど自信

を与えたか計り知れない。

盛況の名古屋、大阪大会

第1戦は15-4。意外に手応えがなかった。

舞台を大阪に移しての第2戦、コートサイドにまで観客があふれた。スタンドから太鼓が打ち鳴らされる。35年にわたる日本ハンドボール界の夢の実現を祈る響きをも聞かえた。

その斗志において、あるいは一歩をゆずるのではないかとさえいわれた韓国に対し完勝した。

「全勝で代表だぞ」ファンの声援を背に選手たちは「まだ一次リーグが終ったばかり」と慎重な態度を崩さない。

第3戦で勝利が確定

日本快進撃は名古屋でもつづいた。国内有数の大体育館が人で埋まった。ガンバレ〇〇……。選手を励ますたれ幕がいくつも吊るされた。

奮起したイスラエルの善戦にあ

って初めて苦戦。

「イスラエルの前半の強さは計算済み……」。ハーフタイムにも余裕があった。はたして後半が始ると7分間に6点をもぎとって快勝。試合後のプレス・インタビューはもう優勝ムードだ。

田村会長、荒川理事長も「まだ1試合残っています」といいながらも「ありがたい」を繰り返す。

有終の美、全勝飾る

東京に戻っての第5日、韓国がイスラエルに屈して日本の自動的優勝、あつけないほどであった。時に11月26日午後7時16分。宿舎では全国から贈られた千羽鶴が選手たちの静かな凱旋を待っていた。最終日、駒沢屋内球技場は四千近いファンであふれ、日本は声援にこたえて有終の美を飾った。

駒沢は日本ハンドボール界のふるさとだ。数え切れぬほどの先輩たちがここで砂けむりをあげ、冷めたい風を切りながら青春の日々を送った。由緒の地で今、日本は悲願を果たせた。

周到な準備と努力。日本は勝った。君ヶ代が場内に響きわたる。いつの日か、オリンピックの聖火の下で、この曲を聞きたい。

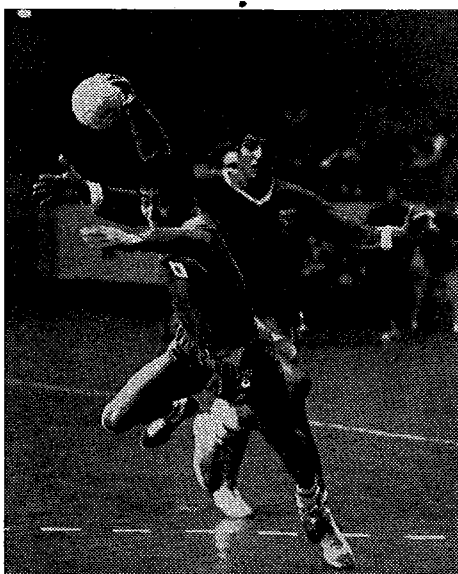
そのために、第一歩を踏み出した全日本チームの選手たちにかさねて心から御苦労さまと叫びたい。

「ハンドボール」

12月号(第93号) 目次

- 日本宿願の五輪出場権握る……(1)
- オリンピックアジア予選詳報(2)
- 全国一丸の協力に感謝……(8)
- 5年間の労苦鮮やかに実る……日本……(9)
- 雄図挫折の韓・両国……(9)
- エミールホルル技術委員長にきく……(11)
- 地域連盟結成案を提出……(13)
- 新しく五輪候補選手を選出……ポストアジア予選(上)……(13)
- ①日本の五輪入賞は有望……(14)
- ②今後の頂点強化対策……(15)
- ③今こそ底辺拡充を……(16)
- ④全日本総合選手権展望……(18)
- ヨーロッパを転戦する女子チーム好調……(20)
- 海外トピックス……(23)
- 全日本学生選手権……(24)
- 秋の学生リーグ……(28)
- 各地の記録……(30)
- 編集後記……(32)
- 【表紙写真】 11月28日オリンピック予選最終戦日本・韓国・駒沢体育館(山田真市氏撮影)

オリンピック アジア地域予選会総観戦記



後半47分木野—近森の好パスをうけた中井豪快なシュートを決める(日韓1回戦)

日本、快調なスタート切る

第1戦・日本×イスラエルの1回戦は11月14日東京体育館で開
会式に引きつづき午後3時43分から開始。観衆三千九百。
▽レフエリー H・カールソン(スウェーデン)、L・オルソン
(スウェーデン)▽公式計時員 岡前義春(日本)▽公式記録員
佐野和夫(日本)

日		イスラエル	
得点	0010100200	0010100200	
アシスト	0010100200	0010100200	
リバウンド	0010100200	0010100200	
スティール	0010100200	0010100200	
フリースロー	0010100200	0010100200	
3ポイントシュート	0010100200	0010100200	
ターンオーバー	0010100200	0010100200	
ファウル	0010100200	0010100200	
タイムアウト	0010100200	0010100200	

【本】田村(7)中野田(8)森永(11)水井(13)川実(15)
【本】大飯(7)藤木(8)野近(9)有(10)大(11)中(12)早(13)新(14)早(15)
得点
▽反則退場【日】木野、中井、藤中
【イ】ホフマンいずれも2分

観戦記 藤本 強 (本誌編集長)

開始後40秒、スローオフのボール

ルをゆっくりと廻していたイスラエルのボールを5—1防壁のトツプにいた藤中がカット、ドリブルで進み、右サイドから中央に走りこんできた野田にパス、野田が中央やや右よりからジャンプシュートを決めた。このカット・速攻、藤中、野田による1点はその後のこの大会の命運を決めたといつてよい程の見事な速攻であった。ついで3分、藤中がまたもやイスラエルのボールをカット、そのまま自ら持ちこみ、決めた。この2点により、日本チームはグッと楽になった。

逆にイスラエルは縮みあがり、深いところでボールを廻し、シュートラしいシュートを打てないまま時がたつた。この間、本田も良くゴールキーパーをとめ、防禦のピストンと相まって、ディフェンスは全く危気がなかった。

まず大量点はとられる訳はないので、安心して見ていられたが、セットになるとこれという絶対の決め手のないこと、ノーマークをミスすることなどから、今一つの足りないなさを感じさせる前半であった。この間にも、着々と得点を重ね、前半は8—1と大差をつけ、大勢は決まった。

しかしながら、日本の攻撃は今一歩冴えがなかった。これはイスラエルのゴールキーパー・セラの好守もあつたが、二人をやや前に出したイスラエルの一線防禦を攻めあぐみ、セットでは、なかなかスカットした点を取れなかった。見ている側としては、13分にフリースローからテルオアにワン・フェイアントでぬかれた1点に押え

村田監督の念願であった、良い守備”はどうやらできあがったが他に課題が生れたのがこの日の全日本チームである。一時間中緊張を続けているのはたいへんなことであろう。しかし、全日本チームはアジア予選を勝ちぬくことが目的ではない筈、オリンピック入賞へ、あわよくばメダルをと考えている筈、このような意味において、リクリンの得点はいかににも残念である。また攻撃においては、完全なノーマークをミスするケースが4—5回もみられた。7 MTのミスも2本ある。とにかく檜舞台での試合はこんな大差がつくことは考えられない1点、2点がいかに重要な意味をもっているかは判りすぎるほど判っている筈。1点に泣いた1年前のことを考え、1点、1点を大事にしていて欲しい。後半の7 MT以外の得点が僅か4点というのはいかに寂しすぎる。

日本—イスラエル①		ランニングスコア	
日本	イスラエル	①	②(7)
前半			
50秒	①野田		
3分10秒	②藤中		
7分51秒	③有永		
11分11秒	④近藤		
13分10秒	⑤飯田		
18分10秒	⑥野田(7)		
26分	⑦飯有		
28分30秒	⑧田永		
29分30秒			
後半			
25秒	⑨近森(7)		
10分30秒	⑩木野(7)		
12分	⑪中井		
17分	⑫中井		
18分			
20分30秒	⑬木野(7)		
21分			
22分5秒	⑭野田		
22分	⑮有永		
24分			
24分10秒			

(7)は7 MTを示す

韓国、鮮やかな逆転勝ち

第2戦・イスラエル×韓国の1回戦は11月17日午後6時6分から東京体育館で行われた。観衆一千、▽レフェリー H・カールソン L・オルソン、▽公式計時員 岡前義春、▽公式記録員 佐野和夫

韓国	15	(9-4)	13	イスラエル
得点	3	0	2	3
ラ	ク	ン	ツ	ニ
エ	ッ	マ	ビ	モ
ス	リ	ロ	リ	オ
ラ	ア	フ	グ	ド
【イセ】	ビ	ホ	バ	ア
【イセ】	ヤ	テ	エ	リ
【イセ】	ナ	テ	ネ	
GK				
F P				
【韓昌】	黄	全	(栄)	宋
【韓昌】	金	李	(鍾)	成
【韓昌】	2	0	0	1
【韓昌】	0	1	0	0
【韓昌】	3	0	2	7
【韓昌】	15	(3)	7	MT
【韓昌】				(8)
【韓昌】				13

観戦記

武藤 一彦
報知新聞
運動部

「ストップ・ザ・ニッポン」をめざす両チーム。すでに第一戦、日本に完敗したイスラエルはとかく、韓国は今大会に初登場だ。村田監督以下選手、関係者の鋭い目が光る。

先取点はイスラエル。ピアリックが7MTをあっさり決めた。続いて3分。テルオアが韓国DF陣の真正面から戦いを挑む。19.4cmの長身、サウスポー、ボールを

わしづかみにするとグッと切れ込みワンドリブル。その瞬間、からだを一回転、ノーマークになったところをあざやかに決めた。会場からホーツ、という嘆息、みせるプレーだった。

韓国も持ち味をフルに發揮した。4分、ゴール右の柳がポストに待つ車に好パス、車がすかさず倒れ込んだ。

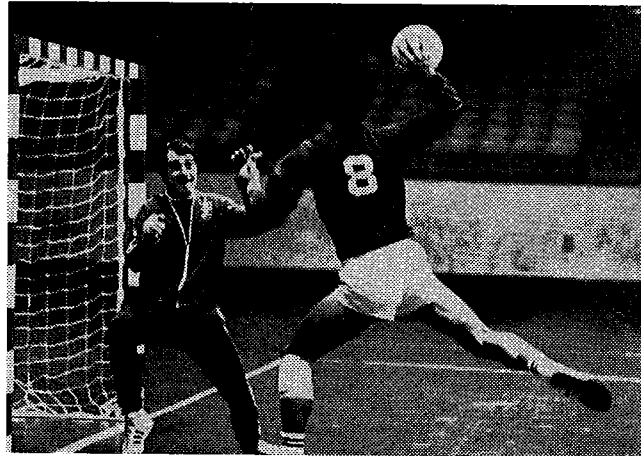
DF突破で「内部」からの攻略をめざす両チーム。イスラエルはより高い効率を求めて外側からのシュートを打たなかった。韓国は正面をさけ左右の倒れ込みに執着した。中盤を迎えてイスラエルが3-1とリード、動きのわりには少くない得点となったのはそのせいだ。

だが、このあとイスラエルの動きにスキがでた。疲れか、一瞬の気のひるみか。突然動きがとまる。韓国は16分、黄が右寄りから左ポストにあたるきわどいシュートで1点差に迫ると18分、20分とたて続けに7MTを車が決めてあっさり逆転。21分には金(弘)―黄とわたる初の速攻も出て5-3とし

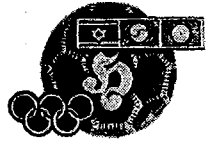
た。

2点差で迎えた後半はシーソーゲーム。金(弘)、車、金(成)の活躍で韓国が逃げれば、イスラエルはヤリミ、ヴァングロビッツ、ナアマンが頑張る。しかし、韓国の攻撃には幅があった。19分すぎ車が中央からバウンドを決めたのには車が左スミからフワリと浮かしたフェント・シュートで13-9と大勢を決めた。

韓国はよく動いた。ローリングのあと左右からとび込む、いわゆるボクシングでいう「テレフォン・パンチ」。攻撃は単調だが、ボールに一丸となつて殺とうするひたむきさで一歩勝っていた。イスラエルはシュート・チャンスをむぎむぎと見捨てる。もったいない。攻撃が惜しまれる。



お礼とお詫び
ミュンヘン・オリンピック
アジア地域予選開催にあたって、全国関係者の協力を賜り厚く御礼申しあげます。
日本チームの勝利、大会の成功は皆々様の御支援によるものと重ねて感謝の意を表すとともに、入場券前売りなどで若干の手ちがいがありましたことをお詫びいたします
12月1日
日本協会アジア予選
実行委員会



ミュンヘンオリンピック予選快勝記念

◇バッヂ 1個 100円

◇銀製ネクタイ止 1個 1000円

基本デザイン
(承認番号
JOC71-A-0146)

お申し込みは日本ハンドボール協会資金委員会
(東京都渋谷区神南1の1の1 Tel 03-467-7097)

日本、絶妙のパス攻法

目立つ車聖福の攻撃力

第3戦、日本×韓国の一戦は11月20日午後6時2分から大阪市立中央体育館に満員・三千七百人の観衆を集めて行われた。▽レフエリ、H・カールソン、L・オルソン▽公式記録員 東嘉伸(日本)▽公式計時員、山本孝男(日本)

得0008001000000
【韓国(永昌)黄車全(栄)宋柳(成)秋李(金)金金】

GK 田村田井田永森野江川海
FP 日本大飯中野有近木大早 氷

得000433241300
▽反則退場【日】飯田112分間

観戦記 杉山 茂 (NHK運動部)

立ち上がりともに気負いがみられた。初得点は3分の日本。近森が相手のパスミスに素早く捨てて独走であげたつづいて4分木野近森。

韓国は詰めのいい日本のディフェンスを攻めめぐみチャンスがつかめない。18分やっと車がミドルをとばしたが、9分、12分日本の巧妙な攻撃で4-1となった。戦局の岐れ路は微妙なワンプレーにある。

15分の韓国のプレーがそれだつた。

20 (1) 7MT (4) 9

の逆襲で金(成)がノーマーク、絶好のチャンスだったがGK本田が鮮やかにクリアランス、ピンチを救った。

金(成)の若さを読んだ本田の動き勝ちともいえたが、ここで1点あったら、韓国は反撃の態勢を整えられただろう。ましてや50秒後車(ミドル)が突ったのだから。

16分をすぎて日本は完全にペースへのつた。特に中井の動きが冴えた。17分、19分それぞれ野田、木野の好アシストを得て連続ゴール、さらに場内を沸かせたのは19分20秒の野田だ。サイドの彼にボールが渡るとうう大歓声、期待に込めて十八番のダイビングシュートを決めたのだから四千のファンは大喜びだった。

後半になって韓国もクロスパス多用の攻め口を改め遠い球廻しか

ら車、宋らでミドルを狙っててたが、日本の守りは崩れない。

ほとんどつけいているスキを与えず封じこみ、攻めては有永の強肩、近森、中井の活躍で7分12-6とダブルスコア。

このあと木野が10分13m地点からのロング、11分ジャンプからのバウンズ、13分サイドから倒れこみと「独演会」。勝利を確定づけた。

韓国も車が切れ味のいいシュートを放って7MT3点を含む8ゴールをあげたほか全員最後までスピードが劣えず、中盤の走りではむしろ日本をしのぐ場面さえみせた。しかし、国際経験で日本に一步も二歩もゆずった。日本は絶妙なパスワークによる攻撃とシャープなフットワークによつて支えられた守りの固さが勝因で第1次リーグを順調にのり切った。

ホルルIHFF技術委員長は「これはどスピードい試合を見たのは初めて」と激賞したが、得点差は割に、たしかに見応えのある面白いゲームであった。

【第1次リーグ順位】①日本勝ち点4(得35、失13) ②韓国勝ち点2(24、33) ③イスラエル勝ち点0(17、30)

木野 快 木野実選手の公式国記録更新 際試合連続得点はこの予選会を終つてついに33試合と伸びた。通算136ゴール。41年9月中国戦でデビュー以来というものだから素晴らしい記録だが、当人は「新聞などが騒ぐだけ……」とまったく気にしていない。

ベスト7 最終戦の記者席はすを選べば、で日本の優勝も決まりもつぱら各国の主力選手の「勤務評定」に話の花が咲いてい

(日) 田村 中野 飯田 近森 野田 江川 大早 木野 永森 山本 本田 金 成 柳 秋 李 全 昌 永 金

車(7) 車(7) 車(7) 車(7) 車(7) 車(7) 車(7) 車(7) 車(7) 車(7) 車(7) 車(7)

たが本誌がそつと聞いた机上のベスト・セブンは上記のような顔ぶれであった。

日本	韓国
①近森	①車
②近森	②車
③有永	③宋
④中井	④車(7)
⑤中井	⑤車(7)
⑥中野	⑥車
⑦野田	⑦車(7)
⑧有永	⑧車(7)
⑨野田	⑨車(7)
⑩木野	⑩有永
⑪有永	⑪中井
⑫中井	⑫木野
⑬木野	⑬木野
⑭木野	⑭野田
⑮野田	⑮野田
⑯野田	⑯大川
⑰大川	⑰早川(7)
⑱早川	⑱早川
⑳早川	㉑早川

(7)は7MTを示す

日本ハンドボール協会検定球

モルテン

亀甲型 ハンドボール

モルテン工業株式会社
広島・東京・大阪

日本、後半一気の速攻

第4戦・イスラエル×日本の2回戦は11月23日午後3時10分から名古屋・愛知県体育館で行われた。観衆四千五百。
 ▽レフエリー H・カールソン、L・オルソン ▽公式計時員 稲石三二(日本) ▽公式記録員 林正信(日本)

日	本	18	(6)	15	7	イスラエル
得	0	0	1	3	2	0
ラン	ミ	2	0	0	0	1
エ	マ	ラ	ウ	マ	ア	オ
ラ	ト	リ	フ	ン	ル	ラ
ス	ル	フ	ン	ア	フ	ン
【	セ	ホ	ヤ	レ	テ	ビ
】	ホ	ベ	テ	エ	ア	リ
GK						
FP						
【	田	里	永	野	田	中
】	森	美	井	藤		
得	0	0	2	3	2	6
【	本	下	有	木	野	飯
】	藤	近	新	中	斉	
得	0	0	2	3	2	6
【	反	則	退	場	日	齊
】	藤	、	イ	ヤ	リ	
リ	ク	リ	ン	い	ず	れ
も	2	分				

観戦記

改田 智洋
 (朝日新聞課 古屋運動課)

「いいディフェンスが出ればいい速攻が一人で出るものだ」と村田監督がいったが、このいいディフェンスが組めるようになったのは後半からだ。前半の日本はイスラエルに手の内を読まれ、第一戦で大勝したとは思えないほど苦戦をしいられていた。
 日本の立上りは0-16のディフェンス。イスラエルは1-5。それも中央の三人の動きがよく日本

は容易に攻込むことが出来ない。それでも7分ようやく木野-野田と渡り、野田が右サイドから得意の倒込みシュートで先制点をあげた。さらに8分30秒、木野が中央の近森に、近森がバックハンドパスで中井にと右から左へ速いパスを回して追加点をあげた。これで日本はペースをつかむかにみえた。

ところがイスラエルは第一戦パスをカットされ速攻に結びつけられて大敗しているため、中にはいらず外で大きくパスを回す。第一戦の敗北で当然考えられる作戦。これが凶に当たった。そして日本が対戦前もともと警戒していた長身を生じたロングシュートを打って

きた。9分に右45度からレフラーが、11分10秒には同じ位置からテルオアがともにロングシュートを決めまたたく間に追いついた。さらに12分、今度は左45度からテネンバウムがカットインシュートで逆転に成功した。日本としては予期しなかった苦戦だ。

だが、4-4のあとの23分、イスラエルのレフラーが7MTを失敗したのに対し、30秒後に日本は野田が7MTを決め5-4とリードした。この7MTの明暗は前半終了前から後半にかけての試合の流れを変えた。

日本は前半の中盤過ぎから藤田中井を大きく前に出してイスラエルの攻めを早い時点でつぶそうとした。「あのディフェンスが当たったのが勝因」と竹野コーチは試合終了後話した。が、得点では1点リードして終わった前半だが、印象としては調子に乗ったイスラエルと浮足立った日本の差が出ていたという感じだった。

日本	イスラエル
① 野田	① 野田
② 中井	② 中井
	③ 木野
	④ 飯田
	⑤ 野田(7)
	⑥ 飯田
	⑦ 木野
	⑧ 藤中
	⑨ 飯田
	⑩ 飯田
	⑪ 中井
	⑫ 中井
	⑬ 有永
	⑭ 飯野
	⑮ 飯田
	⑯ 近森
	⑰ 有永
	⑱ 有永
	⑲ 有永
	⑳ 有永
	㉑ 有永
	㉒ 有永
	㉓ 有永
	㉔ 有永
	㉕ 有永
	㉖ 有永
	㉗ 有永
	㉘ 有永
	㉙ 有永
	㉚ 有永
	㉛ 有永
	㉜ 有永
	㉝ 有永
	㉞ 有永
	㉟ 有永
	㊱ 有永
	㊲ 有永
	㊳ 有永
	㊴ 有永
	㊵ 有永
	㊶ 有永
	㊷ 有永
	㊸ 有永
	㊹ 有永
	㊺ 有永
	㊻ 有永
	㊼ 有永
	㊽ 有永
	㊾ 有永
	㊿ 有永

しかし後半になると日本の動きが見えるようによくなった。ディフェンスがしっかりしてきたので攻撃も速くなる。攻守の歯車がうまくかみ合いスムーズに動き出したといった感じだ。開始直後の木野のロングシュートにはじまり野田-藤田の大同製鋼コンビによるポストプレーなどで着実に、そして面白いように加点、わずか7分間で連続6点をあげて試合の大勢を決めた。

レフラー(13点)、韓国を圧倒

日本の「自動的優勝」決まる

第5戦・韓国×イスラエルの2回戦は11月26日午後6時9分から駒沢屋内球技場で行われた。観衆四百。
 ▽レフエリー H・カールソン、L・オルソン ▽公式計時員 藤田八郎(日本) ▽公式記録員 佐野和夫

イスラエル	22	(14)	8	15	韓国
得	0	0	1	0	9
【	金	永	全	車	宋
】	成	孫	鍾	柳	朴
	金	李	李	金	弘
【	韓	国	永	昌	金
】	金	永	昌	金	永
得	0	0	1	0	9
【	反	則	退	場	韓
】	李	、	イ	レ	フ
リ	フ	ラ	ー		
も	2	分			

イスラエルはこの大量失点でベンチも選手もいっぺんに戦意を失ってしまったようだ。動きは悪くなり、ミスも続発。さらに若手選手をいれたため、攻守のテンポがますます乱れ差は広がる一方。後半わずか2点しか返すことが出来なかった。

観戦記

武藤 一彦
 (報知新聞 運動部)

「オイオイ、一体どうなってるだ」スタンドで観戦の日本チームの面々がすっかり喜んだのもムリは少ない。弱いハズのイスラエルが豪快な攻撃から次々と加点、韓国をほんろうしたのだ。
 前半はイスラエル-レフラー対韓国-車の一騎打ち。スローオフ

□……待ちに待った瞬間がこ
うも平凡な、感激のうすいも
のであったとは……。ある時
は興奮状態に追いこまれるほ
ど緊張し切っていた選手た
ち。もつと歓喜してよいハズ
だった。それがカメラマンの
注文でやっと笑顔がのぞく程
度、拍子ぬけの、劇的瞬間
であった。

□……大会が近づくとつれ
「日本、楽観を許さず」の声
が高まり、キャリア豊かな木
野主将でさえ、第1日(14日
・東京)の前日は「こんなに長
い一日があるだろうか」と思
ったほど重責に押しつぶされ
そうな気持ちでいたという。

いざ幕をあけてみるとイス
ラエルに切れ味がなく、韓国
も燃えたぎるファイアが感じ
られない。

□……第1戦を終えて誰もが
「いける」と思ったようだ。
取りこぼしだけを注意しな
がら日程が進んだ。

第4日(23日名古屋)で新
聞は早々と「ミュンヘン行き
確定」を打ち出した。

残る望み(?)は最終戦に
優勝がかり、コート上で思
い切り勝利をうたいあげるこ
とにかかった。そのためには
韓国がイスラエルに連勝しな
ければ……。

□……イスラエルの鋭い動き
に点差は開くばかり。「こり
ゃあ今夜決まるぞ」。後半10
分をすぎる頃から記者やカメ

拍子ぬけの、劇的瞬間

ラマンの「優勝」の取材がは
じまった。
騒々しくなるまわりに比べ
て選手たちはいっこうに沸か
ない。「満員の観衆、日韓戦
の興奮が尾を引く中での優
勝、カツコよかったハズなの
に……」。それがスタンドで
の達成、しかも外国同士の対
戦日とあってファンの数はま
ばらときている。

□……「最終戦まで持ちこん
で、となればたしかに、演出
満点」だったでしょうが、こ
んな冗談がいえる余裕も、こ
れまでの努力があったからこ
そ……と荒川理事長はいか
にもこの場にふさわしい勝利
の弁を述べた。記者会見に臨
んだ村田監督、竹野コーチ、
木野主将も喜びの談話よりし
んみりとした回想ばなしばか
り。永い道のりを印象づけ
た。

来合せていた古いOBたち
はこの勝利に漫心することな
くむしろこれから勝負だ、
と新たな斗志を期待、35年目
の快挙はいたって地味なムー
ドのうちに成しとげられた。
□……この夜のミーティング
にお祝いの美酒はなかった。
いつものようにビデオテー
プが「次の相手」を映し出し
し熱心な議論が夜遅くまでつ
づけられた。すべて宿願を成
就させた直後とは思えぬ静か
な風景であった。

直後、車がDFの正面をかけ抜け
ざま45度から決めてまず先取点。
が、イスラエルも「身上」のスロ
ースターターによりやく火のつい
た7分、レフラーが左45度、高い
位置からのバウンド・シュートで
追いつく。こうしてはじまった
「対決」はなんと車が連続5(内
7MT2)レフラーも5連続(7
MT2)を含め6得点とすさまじ
い爆発力を互いにみせて好勝負、
結局前半は8-6でイスラエル、
わずかに優位のまま終った。

後半も一進一退の展開が続い
た。イスラエル・ビアリックの外
側からの強引なシュートとレフ
ラーの7MTで4点差になると韓国
も車が7MTと正面突破で一步も
ひかない。しかしこうした試合展
開の中にもイスラエルの動きが伸
び伸びとしていた反面、韓国はD
Fの精彩がなく、イージー・シュ
ートを薬々と打たせて青息吐息……。

韓国の破綻は、10-12で迎えた
14分にやってきた。冷静さを欠き
しはば退場、7MTのくり返し
をしていたが、ここでレフラーに
7MTを許し、その直後、DFの
穴を再びレフラーにつかれ、豪快
なロング・シュートを決められ
た。その後はイスラエルの一人舞
台。スナップのきいたレフラーの
シュートはあいかわらずさえ、加
えてビアリックの矢のようなシュ

ートも決りはじめ、手のつけられ
ない得点ラッシュとなっていつ
た。

対日本二回戦、前半でくいさが
って意気あがるイスラエルに対
して韓国は、ローリングをさせてサイ
ドからとび込むという単調さのく
り返し。攻撃のパターンを読みつ
くされては得意の速攻が発に終
つたのも仕方ないだろう。

2-15でイスラエルの勝ち。こ
の瞬間、日本のミュンヘン行きが
決定した。スタンドで静かに喜び
をわかち合う日本チームが印象的
だった。

派遣の決定はJOCで

アジア予選を勝ち抜いたことで
早くも関係者、ファンの関心は来
夏のミュンヘンにとんでいるが日
本チームの派遣決定は日本オリ
ンピック委員会(JOC)が行うこ
とになっている。

JOCが、苦節35年、ようやく
にしてつかんだ全ハンドボールマ
ンの「栄光」を評価してくれるこ
とを期待すると同時に、日本ハン
ドボール界が今回の勝利に慢心せ
ず、より自重して今後の発展を期
すことを誓いたい。

☆
☆
☆

日本ハンドボール協会公認



ゴールドスター
ハンドボール
シューズ

岡山釣鐘工業株式会社 東京



日本、有終の美を飾る

全試合一桁の失点に防ぐ

第6戦(最終戦) 日本×韓国 2回戦は11月28日午後3時42分から満員・約四千の観衆を集めた駒沢屋内球技場で行われた。

▽レフェリー H・カールソン、L・オルソン▽公式計時員 岡前義春▽公式記録員 佐野和夫

観戦記

小山 敏昭
(共同通信社運動部)

日本	得点	0	0	3	0	1	0	1	0	0	0	1	1
韓国	得点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【日本】	田村	森野	永井	田田	海江	江中	東	大	藤	中	飯	水	大
【韓国】	金	李	金	李	金	李	金	李	金	李	金	李	金

21 (7) 7MT (1) 7



日韓2回戦一飯田のシュート

日本の快勝。すでに優勝を決めた韓国は、先手を取ろうと野田が再度にわたってコーナーからの倒れ込みシュートを見せたが、シュートは韓国GKの正面をついて得点にならなかった。それでも韓国選手ら不用意な反則で7MTを取り、前半を何とか8-4とリードした。

過去3戦で24得点と韓国の6割以上の得点を記録している高校生、車聖福をマークするあまり、黄致範に左ポスト下にバウンドシュートを決められた。しかし日本もシュートしようとした有永に反則した韓国のミスから野田が簡単に同点7MTを決めた。その後日本は先手を取ろうと野田が再度にわたってコーナーからの倒れ込みシュートを見せたが、シュートは韓国GKの正面をついて得点にならなかった。それでも韓国選手ら不用意な反則で7MTを取り、前半を何とか8-4とリードした。

日本	韓国
5分10秒 ①野田(7)	①
8分50秒 ②中井	②
9分30秒 ③近森	③
14分22秒 ④野田(7)	④(7)
15分5秒 ⑤野田(7)	⑤
18分 ⑥木野	⑥
19分25秒 ⑦近森(7)	⑦
20分18秒 ⑧野田	
21分 ⑨有永	
24分20秒 ⑩木野	
40秒 ⑪近森	
5分52秒 ⑫藤中	
8分30秒 ⑬木野	
9分10秒 ⑭飯田(7)	
10分50秒 ⑮有永	
12分 ⑯木野	
13分 ⑰有永	
15分10秒 ⑱木野	
16分 ⑲有永	
16分40秒 ⑳水野	
17分35秒 ㉑木野	
19分30秒 ㉒水野	
22分 ㉓水野	
24分20秒 ㉔水野	
27分30秒 ㉕水野	
29分 ㉖水野	

速攻を得意とする同じ型の両国だが、正確さと組織力ははるかに日本の方が上。一年以上にわたる合宿で、本来なら各チームのエースであるためのコンビネーションの心配も全く見られなかった。これが若さの特権というのだろうか。また有永、近森らがみせたポストプレーはスウェーデンから学んだものと思われる。上背のないチームを相手としたときに効果のあるプレーということはいやといろほどスウェーデンのオルソンらが見せた。そういう意味でもスウェーデンの来日は無駄ではなかったわけだ。試合後の表彰式で田村会長、荒川理事長の大粒の涙がいまままでの苦勞の全てを物語っているようだった。

村田監督の話 日本で予選を開いた甲斐がありました。この一年間強化目標を防禦においたのが成功したと思います。本番までにお一層これまでの経験を生かしてきたえぬいていきたいと思ひます。選手が恵まれたい環境を克服して、本当に良くやってください。

【イスラエル】

【韓国】

数字は通算得点

嬉しい。まったく文句のない日への道を切り開いてやりたい。それがハンドボールに親しむすべてが、ハンドボールに親しむすべての人に誇りを与えることになるのだ。底辺の拡充にたずさわる人も、いつかは判ってくれようと思った。スタート地点にたつて慎重な対策をこころうしたい。

全国一丸の協力に感謝

日本ハンドボール協会理事長
荒川 清美

そしてそのた
びに私は8年前
東京オリンピック
ク直前、種目削
減の悲劇にあった。あの日のこのことに感謝をしたい。ありがとを思い出した。オリンピック種目皆さん。
目からはずされたばかりに、体協問題はこれからだ。オリンピック種目として先輩種目と肩を並べようになって、いっそうハンドボールを見る目は厳しく、けわしいものになっていくであろう。自らお札の言葉を述べたい。

技と心の結集……日本

5年間の労苦、鮮やかに実る

▽……優勝インタビュー(11月26日、駒沢屋内球技場)で竹野コーチは『どの選手も自分のチームに戻ればエース。俺がタタという気が先に立ってチーム編成当時はずとめあげるのに苦勞した』と回想

参加が実現したあかつきには、ユンヘンでも恥ずかしくない成績をあげたい。そのためは改めてスタート地点にたつて慎重な対策をこころうしたい。
与えられたチャンスをいかに活かすべきか、来年8月のオリンピック開会までの9ヶ月こそ日本ハンドボール界の浮沈をかけた期間ということが重ねてすべてを犠牲にして全ハンドボールマンのために斗い栄光を手にしたナショナルチームに敬意を表するとともに、つねに我々の活動に暖かい理解を示して下さった報道関係者諸賢、全国の関係各位、ファンの皆さんに心からお礼の言葉を述べたい。

された28人にミュンヘンへの第一歩として「オリンピック強化選手」の名が冠せられていた。この中から木野、近森、飯田の3人が生き残り(？)、今回のチームの柱になった。氷海、新実、大江などは当時まだ高校2年生である。
村田監督「竹野コーチライン日本協会にしては珍しく長期政権をとったのもいい。
俗にいう大舅、小舅の多い斯界であつてみればこのラインが平穩無事に今日まで来たとはいえないだろう。ナショナルチーム不信心さえ頭をもちあげた時もある。
それを知って悩むコーチや選手たちに心ある者は「それだけ期待が大きいサ」といって慰めた。
▽……この5年間3回の欧州遠征をしている。それがチームワーク強化に大きな役割を果たした。木野に「2年前、ユーゴの国際大会で強敵のユーゴを1点差で破った時、みんな泣いた。いいチームに入れてよかったと思った」という話を聞いたことがある。
この時すでに今日の勝利は予測できた。

もある。日本協会が一切をオリンピック対策部にゆだねたのもその一例だが、このことを痛切に感じているのは選手だろう。
一般社会へ出たばかりの有永や藤中が「ハンドボールに打ちこまなければならぬ」と思いながら会社でチャラツと頭をかすめる時がある」と苦しい胸中を話してくれた時、答に窮したことを覚えていた。
強化合宿、遠征なども決して恵れた条件ではなかった。選手たちにしてみれば文句をいいたい時もあったにちがいない。
▽……一方、予選が近づくとつれ、選手にのしかかる重圧は日増しに強くなった。「35年目の悲願」「斯界の浮沈をかけて」「全国の期待を背に」……。ある選手は「そのような文字を見たり読んだりするのがこわい」とさえた。誰が弱気と攻めることができよう。
▽……「選手がよくやってくれました」。村田監督と竹野コーチはいつもまっ先にそう云った。
しかし村田・竹野両氏もこの5年間家庭生活をなかに犠牲にしての「努力」をつづけた。
若い世代とのギャップに頭を痛めた日もあったのではなからうか。今回の栄光を記者はあえて「村田監督、竹野コーチと16人の選手で勝ち得た勝利」といおう。

(S)

イスラエル

来日前、ルーマニアで強化合宿(ルーマニアナショナルBなど)と3戦1勝1分1敗)、大会5日前に東京入り。大変な意気込みだった。初練習の評判も悪くなかった。村田・日本監督は「自分が想像していた成長度よりさらに二、三分伸びている」とタズナを引きしめた。

強豪目白押しヨーロッパ地域をさけて、遠い日本まで乗りこんだ彼らも、「勝利」を信じて疑わなかったろう。アクシデントは大会2日前(12日)の練習中におこった。

エースのA・レフラーに持病の

雄図坐折の韓・イ両国

国

勝負への執念と粘着力は3ヶ国随一という前評判であったが、大会直前まで国内事情がからんでメンバーが固まらなかったと伝えられ、それが響いたのか予想に反する精彩のなさで終った。

ベテラン、新人半々という編成、しかもナショナルチームの編成はこれが初めてとあれば、「時間不足」は致命的。

メンバーの申しこみが遅れ(本誌既報)、日本チームはこれまでの交流資料をもとに来日予想リストをつくりあげたが、ほとんどの

ヒザ痛が出てしまったのである。今春の世界学生選手権(チェコ)でも目立った存在というレフラーがベストコンディションでなかったことは、イスラエルの戦力を著しく減退させた。

個人技にしても組織プレーにしても特に目立った動きのないイスラエルにしてみれば180cm、左腕という「武器」をもつレフラーへの依存度は大きいものがあった。昨春の対日本戦で6点(2試合)を叩き出した実績もある。レフラーの故障がイスラエルの歯車を狂しってしまったともいえそう。

第2次リーグに入ってからイスラエルはわずかに活気を取りも

中していた。意外だったのは高校生3人(軍聖福、金成憲、李錦求)が含まれていたこと。車、金の東亜高コンビの非凡な実力は今夏来日した時すでに、日本関係者の舌を巻かせたものだが、まさかナショナルチームに登用されて来るとは考えていなかった。

「いかに優秀とはいえ高校生の彼らに加っているようでは……」と韓国の実力を推測した人もいるが車のしなやかな腰と腕を利した攻撃力は誰もが見直したようである。

宋錫仁、黄致範、金植植といった有力アタッカーをおしのけて彼

どし、日本戦(23日・名古屋)の前半でみせた攻守、韓国戦(26日・駒沢)に示した豪快な攻撃はヨーロッパでもまれているだけのことであった。

「日本も韓国も速いプレーが持味であることは知っていた。しかし実際に試合してみるとまどうプレーばかりで、対処する策がたたぬ間に大会が終った」とはセンドラコーチの弁だが、「オリンピックには是非でも出場」という張りつめたムードはあまり感じられなかった。「アジア地域とはいえ日韓両国と我々は、人種が違う」(センドラコーチ)せいだらうか。

国

がエースであったのはたしかに驚ろかされた。通算25点。宋以下にかつての鋭さがあれば韓国の攻撃陣はやはり相当なものだったろう。

韓国にとって一つの不運はヨーロッパ流の判定に慣れなかったことがあげられ、特に小刻みなフットワークをオレ・ベーステップにとられたのは痛い。

若手の有力選手を並べた今回の布陣は、明きらかに、「次の機会」を狙ったもの。彼らが今回の敗戦を打倒日本の執念におきかえた時……。日本優位がいつまでも続くとは思えない。

ホルル委員長が認定宣言


アジア予選優勝国認定式は第6日(11月28日・駒沢屋内球技場)日本×韓国2回戦終了後行われた自衛隊東部方面音楽隊の演奏するマーチにのって日本チーム全員が下里選手の掲げる国旗につづいて入場しコート中央に整列、エミール・ホルル国際ハンドボール連盟(IHF)技術委員長が「日本にミュンヘンオリンピックアジア地域代表権を与える」と認定宣言割れるような拍手のなかで村田監督、竹野コーチ、木野主将の首に記念のレイをかけた。日本国歌が吹奏されたあと、選手がコートを一周、ファンの手拍子と五色のテープが乱れとぶなど感激的なシーンがつづいた。

汗と涙のボールを投げいれ

選手たちは認定式(別掲)終了後、再びコート中央に現われて手に手に持っていたボールを高々とスタンドに投げこんだ。

これらのボールは、これまで日本チームの試合や合宿練習などに使われていた選手たちの汗と涙がしみこんだもの。

自分たちの努力を支えてくれたのは全国の声援があったからとお礼をこめての投げ入れになった、という。



ハンドボール
愛好者
募集中!!

昭和38年チーム結成
全日本実業団大会7回
連続出場

荷役運搬機器の総合メーカー

■ 主要製品

テーブルリフター

タヨシ産業株式会社

本社・工場 名古屋千種区豊年町3-37 電話(741)4121代表
東京営業所 東京都世田谷区祖師谷2-1025 電話(482)3589

合織糸・合織混紡糸



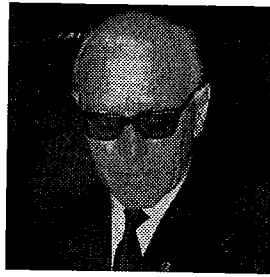
田村紡績株式会社

社長 田 村 正 衛

四日市市東茂福町10-17
TEL 四日市 6-2156 (代表)
郵便番号 512

モントリオール五輪も確定的

E・ホルル技術委員長に聞く



E・ホルル氏

ホルル氏 一九七六年(昭51)のモントリオール大会での実施は確定している。一九八〇年以降ももちろん続けられるであろう。

(注) かねて居たM・リンケンパーガーIHF財務理事が「すでにIHFあてモントリオールの組織委員会から実施の正式書類も届いている」と補足説明してくれた。

国際ハンドボール界の大御所、エミール・ホルル氏(63才、IHF技術委員長、スイス)がアジア予選のため初めて日本を訪れた。

世界ハンドボール界の近況、今後の方針などを聞いてみた。

(編集部)

——オリンピックでハンドボールが36年ぶりに実施されることについてどう考えるか。

ホルル氏 世界のハンドボール関係者すべての喜びだ。しかし、採用があまりにも遅すぎた。ハンドボールは誇りある「世界のスポーツ」なのだ。

——今後開かれるオリンピックにもハンドボールは「定着」できるか。

ホルル氏 スピード、テクニクとも申し分ない。特にボールを持って走る速度と「全員速攻」はヨーロッパでも例をみない。

——日本のハンドボールに対する印象は。

ホルル氏 女子の採用はどうか。ホルル氏 卒直のところ有望ではない。それよりもモントリオールから球技は男子12ヶ国に縮少して欲しいと国際オリンピック委員会(IIOC)に要望されていることの方が問題だ。

——縮少はさけられぬか。

ホルル氏 IIOCに対して反対の意見を提出している。もし女子が採用されたとなると男12、女6というところもあり得るが、そうでなければ16の線を通したい。

——モントリオールも大陸別の予選を行うか。

ホルル氏 ヨーロッパはいま強豪が目白押しだ。しかも昨春の世界選手権以降各国とも急速に力をあげている。8位のハンガリー、ラシク外のノルウェー、ポーランドなどのレベルアップは特に目立っている。日本が去年だけのデータでオリンピックへ乗りこむのは危険であろう。是非ヨーロッパ遠征を行い、連日各国のナショナルチームと手合せをすべきだと思う。

——今回の運営について

ホルル氏 東京も大阪も名古屋もすべて満点だ。荒川実行委員長以下スタッフの努力に敬意を表す。

——日本の体育館は、

ホルル氏 明日からでも世界選手権が開ける(笑)

——日本の観衆について、

ホルル氏 非常に「公平」なことが印象に残った。スポーツをよく理解しているからだろう。

——今後、日本に何を望むか、

ホルル氏 是非、東南アジアにハンドボールを普及させる役目を果たして欲しい。

アジア大陸は日本、アメリカ大陸はアメリカがそれぞれ伝統も力も他国をリードしているのだから期待している。

——IHFは大きなルール変更を考えているか、

ホルル氏 特におこるまい。

着をつける方法は、ホルル氏 好ましいとは思わぬ。今春4月チェコで開いた世界学生での大会はIHF主催ではなく、IHFルールを使わなくてもよかった。

——日本のスポーツ記者などはハンドボールは反則が多すぎる、バスケットボールのような「5反則失格」といったルールを考えられぬかといっているが、

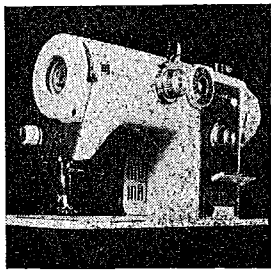
ホルル氏 とんでもない。バスケットはバスケットだ。反則過多の原因はレフリーの未熟にある。

——試合時間の「正味制」は、

ホルル氏 ヨーロッパの記者からもよく云われるが、生理学的にみても60分(男)が精いっぱいだ。これは人類の体格、体力の発達と考えあわせて研究すべきだろう。

——あなたの球歴は、

ホルル氏 一九三六年のベルリンオリンピックにスイス代表として出場している。第2次大戦後は一九六八年までスイスナショナルのコーチングスタッフの一人で、60試合近くヘッドコーチをつとめた。



■ジューキシンは精密工学の結晶と云われる高級品。シャープなスタイリングで、その名を高めています。

鍛えぬかれたフォームにこそ、 メカの真髓がある



ジューキ

東京重機工業株式会社

「地域連盟結成」案を提出

日韓共同で I H F に

アジア各国代表者会議

アジア各国ハンドボール代表者会議は11月15日午前10時から東京目黒の雅叙園観光ホテルで開かれた。

会議は5ヶ国に案内状が送られていたが、出席したのは韓国(朴応喆氏、姜仁燮氏)と日本(田村正衛氏、荒川清美氏、久田曉氏、久田曉氏、久田曉氏、久田曉氏)の両国だけ。イスラエル(モルデチャイ・ムスキ氏、シエミューエル・ジョベルマン氏)はオプザーバーを条件に途中から顔を出し台湾(宋丙堂氏、翁琳樞氏)は直前になって来日不能となり東京都協会々長渡辺和美氏(日本協会副会長)に委任状が託され、同氏が出席した。また、ホンコンは来日中のヘンリー・スー同国オリンピック委員が前日日本協会関係者にホンコン球界の事情を説明、この日は欠席した。

このほか、アジア予選で来日中の国際ハンドボール連盟(IHF)財務理事マックス・リンケンパーガー氏(西ドイツ)がIHF代表の立ち場からアドバイザーとして出席した。

会議は田村氏が議長をつとめ進められたが、予想どおり冒頭から「アジア連盟結成問題」の論議となった。時期尚早を説く日本と、即時発足を主張する韓国がぶつかり、平行線をたどるかにみえたが、リンケンパーガー氏が「IHFは地域連盟を認めていない。アジア連盟を結成するには内規の改訂とIHF総会における賛同が必要」と発言したため、議論は新たな局面を迎え、IHFに対し内規の改訂を申請するかどうか焦点となった。

ここでもその必要なしとする日本と、積極的な働きかけを望む韓国が対立、容易に解決の糸口を見出せなかった。しかし正午すぎになって韓国側が「アジア予選欠場も辞さぬ」という態度まで持ち出したため、日本もついに折れ、来春3月ミュンヘンで開かれるIHF理事会まで日韓共同で「地域連盟の組織、結成を認める」という提案を行うことになった。提案文書は韓国協会が作成する。

IHF理事会で日韓案が承認されれば来年8月ニュウロンベルグ(西ドイツ)で開かれる総会で審議が行われる。ここで賛成が得られたあとアジア各国は改めて「アジア連盟結成」について協議することになる。

なお、リンケンパーガー氏は「総会では三分の二以上の賛成が必要。また地域連盟が認められても参加国はIHF加盟国に限定されよう」と云っている。

会議はこの問題のむし返しに終始し、他の決定事項は一つもなかった。

◇ 思ってもみなかった「結論」である。日本協会はこの会議に臨む態度としては全国理事会(9月26日)と全国評議員会(10月3日)で「各国間の個々の交流を推進さ

よる次の目標として「ミュンヘンでの上位入賞」を掲げることになり、今年度のナショナルチームを11月29日付で解体、年内に新しい全日本選手をオリンピック候補選手として選出することになった。

ナショナルチームの新編成はかねてからの計画に基いたもので、人数などについては明きらかにされていないが荒川理事長を委員長とする選考委員会によって全日本総合選手権(12月15～19日東京)

にはリストが発表される模様。日本協会では10月の月例常務理事会で同メンバーを来年の「ナショナルチーム」とすることも申し合はせている。

また、コーチングスタッフについても新しい観点に立って協議される予定で、消息筋はオリンピック対策部の増員(現在は村田部長、竹野、藤本、杉山の3委員)が打ち出されるものとみている。

選考委 日本協会は新しいオリ

決まる

新しく五輪候補選手を選出

中国と北朝鮮を I H F に

ルーマニアらが申請

田村会長、荒川理事長とも「連盟結成は一応延伸できたのだし、日韓提案はその場でた新しい問題」というが中国がらみの国際情勢下、別の難問をかかえこんでしまったのも事実である。

韓国の強腰に引きずられたことなどあわせて執行部が苦しい立場に追いこまれることになりはしないだろうか。

なお、イスラエルはアジア連盟にはまったく無関心のように、久田国際部長は「仮に結成されたとしても加盟しないのではないかと

アジア予選のため来日したIHF技術委員長エミール・ホルル氏(スイス)は14日夜東京で「中国と北朝鮮のIHF加盟申請がルーマニアと東ドイツから提出される(ミュンヘン)での議題になるだろう」と語った。

△注▽台湾はIHF仮加盟国。中国と日本はこれまで2回(昭40と昭41)交流している。北朝鮮とはまったく対戦していない。

考委員会を次のように編成することになり発表した。

▽委員長 荒川清美(日本協会理事長)▽委員 村田弘、勝繁夫、安藤純光、渡辺慶寿(以上常務理事)▽竹野奉昭(オリンピック対策部委員)

50年国体 日本体協国体委員会
は三重県 11月16日、昭和50年の第30回国体の開催地を三重県に内定した。ハンドボールは四日市市の予定。

日本の五輪

入賞は有望

速攻を特徴とする日本チームの特長は点をとれるが、守備が難点失点も多いこととされている。

この特徴が生かされ、一昨年のタシマイダン杯のユーゴーに対する勝利、その自信をもって臨んだ昨年の世界選手権時における、網メダル」のユーゴーとの引き分け、ここでもっとも問題となったのは、守備力の強化である。

ここ一年の日本チームの課題は守備力の強化にあるとされていた日本チームは従来、力のハンドボール」に弱かった。ルーマニア、東ドイツ、ソ連という東欧圏らしいハンドボール、強烈な大砲を備えた、力のハンドボール」には弱点であつた守備力をつかれ、大量失点を許していた。

西ドイツ、デンマーク、ハンガリーなどの「麗華な技のハンドボール」に対しては、対等というよりむしろ優位に展開することがしばしばあった、その中間的なユーゴーに対しても充分対抗できる力を備えた。

課題とされていた守備力もこのアジア予選、決して弱くはない攻撃力をもっている韓国、イスラエルの両国を全試合1ケタの得点に抑えた。

これはスウェーデンとの4試合総失点55(うち7MTによる失点11)一試合平均14点弱、7MTによる失点を除けば、一試合平均11

点と明らかに守備力は向上している。今回のスウェーデンチームは従来と異なり、日本の「苦手」とする力のチームであつた。守備面での向上は明らかである。

このように見た場合、現在の日本のハンドボールの力は、技のハンドボールに対しては対等というよりむしろ優位、力のハンドボールに対しては、その力が従来ほど圧倒的な力をしめすとは考え難い。

このような日本チームの分析を基礎にして、オリンピックでの順位を占なう訳だが、これにはくじ運とコンディションニングの問題が大きく左右する。

特に速攻を武器として、体の小ささをスピードで補った守備をする日本チームの消耗度は他国に比べてはるかに激しい。それが、決勝トーナメントに入ってから勝ち抜き戦の試合ぶりを大きく左右しよう。

さて、前回の選手権のベストエイトはおそらく従来の世界選手権の慣例から次のような組み合わせとなるのが予測される。

- A組 ルーマニア、ハンガリー
 - B組 東ドイツ、チェコ
 - C組 ユーゴ、スウェーデン
 - D組 デンマーク、西ドイツ
- この組み合わせを見た場合、日本にとって、苦手な力のハンドボールの国が占めているのはB組だけ

である。またソ連と日本は9、10位として分けられることが予測される。

このように見てきた場合、A組ではハンガリー、C組では、ユーゴ、D組ではデンマークに対して対等もしくは優位ということがいえる。B組に入ったところで、このところ新旧交替に失敗したチエコの力は眼に見えて落ちていく。

とすれば、ベストエイト入りは第七回世界選手権に比べて、それほど困難なこととは思えない。もちろん、これからの9ヶ月、得意とする速攻にさらに磨きをかけ、防御力をさらに向上させていくことが重要な条件となるのは云うまでもない。

問題は次である。ベストエイトから上の道は、厳しい。各国は予選リーグのお互いの組の順位を見ながら決勝トーナメントをいかに有利にするかのカケヒキを見せよう。ここでは、どの組に入っても

第三番目の座を占める日本は、強敵との争いを二日目に終了してしまい最終戦に強豪同士の争いを見ながらのカケヒキはできない。この試合日程の差は日本にとっては不利な材料となる。日本はあくまでも一敗もしいないということだ。ここで準々決勝に對戦するチームに、前項であげたような技の

「ミュンヘンへの道」が通じたこうなった以上、残る目標は「上位入賞」である。ミュンヘンオリンピックで日本チームがどこまでいけるか、この際冷静に考えてみる必要もある。

1961年に第4回7人制世界選手権に参加した日本チームはすべての面でヨーロッパ諸国に学ぶことのみが多かった。

第5回、第6回と回を重ねるにつれ、得点をあげることは得手になり、ヨーロッパ諸国にヒケをとらない攻撃力を備えるにいたった。1969年のルーマニアをはじめとするヨーロッパ遠征で、日本チームは従来の善戦意識を脱しヨーロッパ一流チームに対し、勝ち策をとれるまでに成長した。

トヨタと共に躍進するセントラル

クラウン・コロナ・ピックアップ・ライトバン製作



セントラル自動車株式会社

神奈川県相模原市大山町4番12号

TEL 相模原 (0427) 72-6111 (大代表)

加入電信 2872-205 サガミセントラルSGM

チームが相手になれば(この可能性はかなりある)、準々決勝をきりぬけ、ベストフォア入りする可能性はきわめて強い。前回の選手権でも、予選リーグでもう一点とってさえいれば、準々決勝での対戦はハンガリー、これは69年の対戦経験から云えば、十分に頂けた相手。準決勝を勝ち、決勝進出はちょっと、当時の力ではムリであったかも知れないが、三位決定戦の相手は、得手のデンマーク。ユーゴにとってかわり、三位の座を占め得た可能性も十分にある訳だ。

よしんば、ベストフォアに残念ながら、残れるかったとしても、5~8位決定戦一回戦で当ることになるであろう国は、現在の世界力関係から云って、技のチームになる可能性が80パーセントはあろう。この5~8位決定戦で勝つ可能性は非常に高い。

とすれば、現在の日本の力をそのままここ9ヶ月の間に更に磨き、ミュンヘンにのりこめば、ベストエイト入りはおろか、6位入賞の可能性、くじ運にめぐまれさへすれば、三位入賞の可能性もかなりでてくるということがいえる。

要は今後の「速攻の強化」、「防衛力の洗練」、「相手の倍以上動いても、一時間中もつ体力」以上三点の強化にいかにか努力するにかにかかってこよう。

ポスト・アジア予選②

今後の頂点 強化対策

前項で、オリンピックの順位としての可能性が強いのは3~6位としたが、これは今後の強化策にかかってこよう。

たとへ、現在、入賞の可能性はあったとしても、ノンベンダラリとしていたのでは、熱気溢れる強化策をとっているヨーロッパ諸国にたちまちにおいてきぼりを食ってしまう。

日本のハンドボールの特長は、アジア予選来日のIHFF技術委員長エミール・ホル氏が語ったように「Handball des Japan ist schnell Handball. Es ist sehr gut.」日本のハンドボールは速いハンドボールである、それはたいへんいいことだを徹底的に伸ばすべきであろう。

身長差はかなりつまったとはい

え、体重差はまだまだヨーロッパ諸国と比べてある日本チーム、力に對抗するのは速さしかないという鉄則を肝に命じ、速さに徹し単に速攻だけでなく、速守をも自己のものにし、力と大きさに對抗しなければ、上位への道はない。

体重の大小の差があるものが、同じことをやっていたのでは、優位にたてる訳がない。

速攻は日本の特技として、すでにかなりのレベルに達している残された課題は速攻の成功率をより高めることであろう。せっかくノーマークになりながら、それをミスした場面が、アジア予選でも散見された。

これに加えて、速守、とにかく速い動きの守備、前後左右に相手の動作を予知し、相手に対して行動をおこし、必要がなければ、すぐに定位置にもどる、この速守をぜひこの9ヶ月内にマスターし、速攻守を日本の得意技にすることさへできれば、メダルも夢でなく現実のものになってこよう。

更に、この速攻守を達成するためには、もっとも基本的な問題が持久力である。

他国の選手以上に速く動くことは、それだけ多く動くことを意味しよう。

他国の選手より多く動けば、一試合内の疲労はもとより、疲労の蓄積ということも重要な要素とな

ろう、この克服することこそ、もっとも基本的な課題といえよう。

アジア予選に於いても、ホツとした体のゆるみが後半に於いて見られたこと、世界選手権でも一寸した疲労が気力を衰えさせ、またスウェーデン戦に於いても、後半スパートされたのは、これと無関係ではあるまい。

小さな体で、より大きな持久力を要求されるのは、現在の日本チームにとっては致し方ないことである。

以上の目標に向かって、一枚岩の指導陣を全国のハンドボールファンが盛りあげ、自分自身のできる範囲で協力体制をひくことこそ、折角、36年ぶりに手にした貴重なミュンヘン行きのキップを生かすことになる。

次代を背負う青少年のハンドボールファンに希望と夢を与え、全国のおちこちで毎日々々の日常生活でハンドボール普及に努めている人々にも活力を与えるように、球史に一つのポイントを与える意味においても、ぜひともミュンヘン・オリンピックで上位入賞を果したいものである。

ハンドボール界あげての期待になうチームが十二分の強化と悔いのない試合振りで、オリンピックを闘うためにも、全国のハンドボールファンの協力はぜひとも必要である。

★**確めてください! MIKASA**

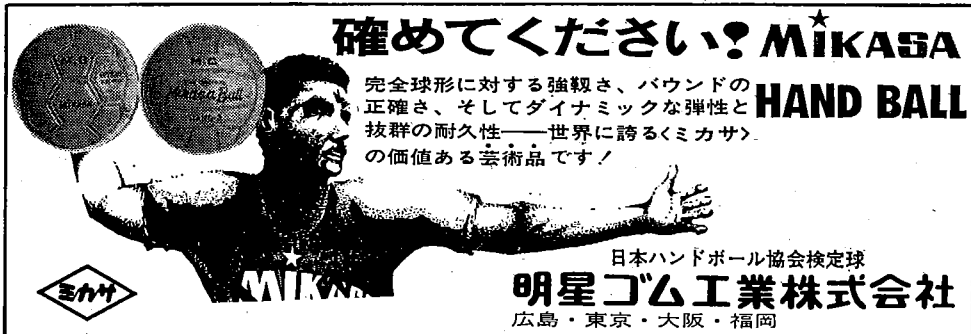
HAND BALL

完全球形に対する強靱さ、バウンドの正確さ、そしてダイナミックな弾性と抜群の耐久性——世界に誇る「ミカサ」の価値ある芸術品です!

日本ハンドボール協会検定球

明星ゴム工業株式会社

広島・東京・大阪・福岡



今こそ

底辺拡充に全力を

踏み切れないまま時を過した。新しい全国規模の大会を開く余裕がなかったのだ。

9、10月に東京で開いた全国会議（理事会、評議員会）では地方代表の積極的な開催提案に対し執行部の態度はもう一つ歯切が悪かったが11月末になって、この問題のため専門委員会を発足させ実行へようやく前進を示した。

「……スポーツ少年団問題も完全に他競技からリードされてしまった。この失地回復は不可能に近いとみる担当記者もいるが、日本協会ではとりあえず毎夏に開かれる全国スポーツ少年団指導者大会に期待をかけており、今回の勝利で少年層に「ハンドボール」の名がしみわたり、興味がもたれば……という。しかし具体的な対策はとなると早くても来春の全国会議になりそうな気配。

「……クラブの育成はブロック選手権には日本協会杯を贈っているのが精いっぱい。地方協会まかせというのが実情である。アジア予選で大阪、名古屋（愛知）はかなりの入場券がクラブ層で捌かれたのに対し、東京周辺はパツとしなかった。

日頃のクラブ対策の強弱が数字になってさらけ出されたわけだがこの機をとらえて、OB、OGをコートへ連れもどせという姿勢をより強力に推進させなければなら

まい。学窓を出て、ハンドボールに心ならずも別れてしまったOB・OGは多い。これらの人々をこれを機会にコートに連れもどす努力を行なわねばならない。アジア予選を見た多くのOB・OGが久しぶりにハンドボールに触れたということ各地で聞いたこれをたやすくことなく、日常的にハンドボールに親しんでもらう努力をしていくことも必要だろう。「……クラブ側の意欲を過小評価してはいないか、とする消息も

いる。例えば今年から全日本総合選手権に「社会人代表」の名で男2、女1のワクが設けられたが、日本協会は果して出場チームが名乗りをあげるかどうか不安な感じを抱いていた、と伝えられる。実際は、男子は東西とも4ブロックの代表が出場の意思表示をそれぞれ決定戦まで行った。北海道のクラブチャンピオン、函館有斗OBなどは11月末わざわざ水海道市（茨城）まで代表権争いに乗りこんだほどの熱の入れようである。

「……実業団にすっかりおさえこまれているOGの意気も健在だ。和歌山団体の成績を基準に3クラブが全日本総合の候補に推されたが、いずれも「出場の意思あり」。

どのクラブもメンバーの勤務先はバラバラ、経費はすべて自己負担、練習時間は大会前朝夜1時間づつできればよいほう、といった条件のなかで「全日本タイトル」という気力を燃やしている姿に日本協会は応えなければならぬ。「……もともと中学校（生）は対策にしても、スポーツ少年団問題にしてもス界は、かなり先手を打っていたことなのだ。

中学校（生）対策は昭和38年度には早々と重点施策に打ち出されていたテーマだし、スポーツ少年団は35年度に神奈川協会が主体となって準全国活動を他競技にさきがけて行っているホド。

これからみれば底辺対策は新しく組み立てられるのではなく「復活」ともいえる。中心となるべき普及部（担当・渡辺慶寿常務理事）は、12月4・5日全国委員会を招集して始動、いくつかの問題点を洗い出すと同時に具体的な構想の実現へ着手した。

「……ハンドボールの正しい理解と普及」をバックボーンに普及部が中学対策以下をどのように展開していくかは大いに注目されるが、オリンピック強化成功の裏にはなげなしのサイフをはいた「投資」があったことを考えると普及面に日本協会がどの程度経済的なバックアップを示すかも成否のカギであろう。

田村会長は「理想は強化費と同額、少くとも強化費の75%相当は底辺対策にふりわけたい」といつているが、スライドの作成、指導者の養成講習会の開催などごく初歩的な施策だけでも経費はかさみ、さらに中学スポーツ少年団、クラブなどの活動促進を合わせる強化費を大きく上廻る覚悟が必要だ。

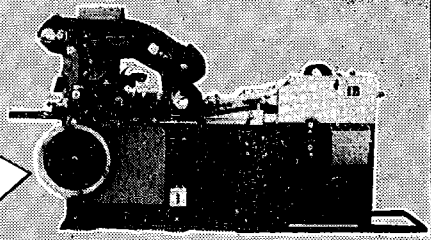
「……中学校体育指導要領」への再採用、各地におけるクラブ競技会の発足、少年ハンドボール教室の試み……。明かるい材料も揃っているが、やはり肝心なのは日本協会の熱意であろう。底辺のことは底辺で、という考えも、ある面で間違っていないがここにも「拳国体制」がなければ基盤づくりはできない。下からの盛りあがりとお上からの好リード。

アジア予選の快勝で黙っていても底辺が拡がり、たくましい根がおろされるなどと考えていたならば今回の光は、文字どおり一閃（いっせん）にしてあとかたもなく消えてしまわうだろう。

今こそ底辺拡充に全力投球すべき時なのである。そして、この栄光を次代にしっかりと受け渡す方策をたてておかなければならない。

「ポスト・アジア予選」は次号に

つづく



高性能機パーフェクトのほかにも
たくさんのすぐれた印刷機材があります

印刷機械

●パーフェクト(全自動B四裁凸版印刷機) ●各種断裁機

材料

●引戸式ケース馬 ●スチール製和文植字台 ●パテントゲラ棚…など多種

母型 活字 写真製版



千代田印刷機製造株式会社

本 社 東京都千代田区神田猿樂町1の4 電話(03)(292)2011代~8
横浜支社 横浜市西区高島2丁目10番20号 電話(045)(441)6782代~4
福岡支社 福岡市御供所町3番36号 電話(092)(28)3960・0153
千葉支社 千葉市市場通り122 電話(0472)(27)6463・(22)3979
立川工場 昭島市東町1丁目1番5号 電話(0425)(23)3471~3
九州工場 佐賀県小城郡牛津町 電話(95207)0072

予断許さぬ男子の王座

今年の国内チャンピオンチームを決める第23回全日本総合選手権は12月15日から19日までの5日間東京体育館（第1日のみ駒沢屋内球技場併用）で開かれる

全日本総合選手権展望 女子も実力伯仲の激戦

この大会が東京で開かれるのは第4回（昭27）以来19年ぶり。前回までは国体開催地を持ち廻っていたものだ。会期が冬季に移されたのはじめ大会の方式もかなり模様替えをされた。参加チームは男子の場合一挙にこれまでの半数（16）に、女子も限定（12）された。いずれも日本協会、加盟団体の推せんチームであり、全試合まったく息が抜けない。

オリンピック参加が実現しムードが盛りあがっている時だけに国内最強チームの激突はハンドボール熱をいちだんと高めさせることだろう。

発表された組み合わせを見ながら優勝の行方を探ってみよう。TV中継は12月19日15時30分からNHK教育TVの予定。（編集部）

新五輪候補の選考兼ねる

男子
◇参加16チームを4組に分け予選トーナメントのあと、各組勝者により決勝リーグ。

予想どおりすばらしいチームが並んだ。

どこがナショナルチャンピオンになってもおかしくない。宿望を遂げたナショナルプレイヤーも久々に所属チームに帰って颯爽と姿を現す（有永、斉藤、大村は欠場）。

また、別掲のとおり早ければこの大会直後ミュンヘンを目指す新オリンピック候補が発表される。激しいチームの対抗意識とともに卓抜した個人技の応酬が期待できることは国内選手権としてのこの大会の成長を物語るものでもあらう。

A組ではいきなりワクナガ薬品と大阪イーグルスがぶつかる。大阪同士、手の内を知りつくしているらえ、GK本田（全日本）

がイーグルスのユニホームで中央に初登場する。

攻撃力では本野、早川（ともに全日本）を主軸に市原、高橋、戸田、森らを揃えたワクナガがどうみても一枚上であり、イーグルスが守りてどう対抗するかがカギだ。

中央大×自衛隊勝田は順当なら中央大のもの。佐藤要、佐々木、花輪、佐藤光らでスピードは学生一という定評を得ている。しかし中央大は勝田のようなナダレこんでくるタイプに意外と弱いし、相手の力に合わせたような試合をするクセも脱けきっていない。ここをうつけば勝田に勝機も生まれよう。

B組は日体大×芝浦工大の争いか。日体大は氷海（全日本）をリードマンに高橋精、松原、岩下、佐藤雄、松岡、佐藤富らオールラウンドプレイヤーとGK高橋誠が並ぶ。層の厚さも抜群である。芝浦も張り切っている。明石、木全らで全日本学生（11月・東京）

を乗り切り、若手が自信をつけたところへ新実、大江（ともに全日本）が戻ってくる。最後まで予断を許すまい。

試合巧者を並べた東京教員は全日本教員（8月・鹿児島）で3位に終っており、この大会にかけているが学生勢のスピードをかわし切れるかどうか。セントラル自動車は本田技研

（三重）の辞退によって浮かびあがった。峰、羽毛田、中村らの攻撃力に見るべきものがあるが日体大相手では荷が重そう。

C組は大崎電気×大同製鋼。優勝戦といってもおかしくはない好カードだ。

大崎は近森、東、飯田、GK下里の全日本クワルテットに近藤、篠野の両ベテラン、佐藤、林、谷口GK岩下らを配す。

大同も野田、藤中、中井（いずれも全日本）を攻守の軸に加藤、戸谷、栃原、GK柳川とスキがない。1点を争うエキサイトしたゲームになりそうだが上り坂の大同を推す声がわずかに多い。

大同にとって大阪体大は気を許せない。中村、中出、中田、桐山藤井らテクニシャンを揃え気力も充実している。

13回目の出場をはたす名門・桜丘会はクラブきっての攻守を誇るが大崎をたたくところまではいくまい。

D組はダークホースが並んだ。どこも波にのれば一気に、といったチーム。

スワロー兵庫×法政大は実力伯仲。国体（10月・和歌山）ですばらしいデキをみせた兵庫は栗山、畑、木野、井上、GK上野清らが中心。

法政は巧者荒井を先陣に田上、長谷川、吉野、小石川、GK川畑

女性の美しさを創る…ファンシーヤーン

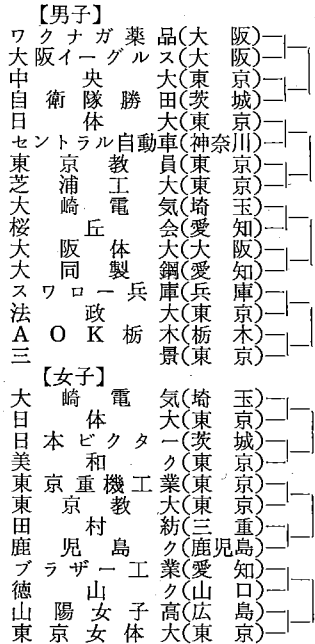
生活に彩る……………パソコンカーペット
ハイライブラ



タイヨバン

岐阜・羽島

◇予選トーナメント組み合わせ



らで柔軟な試合運びをみせる。アイフエンスが固まれば決勝リーグへ進んでも手強い存在となる。三景×AOK栃木はこれまでの顔合せからみても三景有利。喜田、高梨、内藤、植田、山原武井、上平、GK西牧と気鋭が揃う。ベスト4へ抜け出すチームの予想は難しいが三景×法政となれば三景、三景×兵庫となれば兵庫とみたい。

実業団に挑む日体大

大きな波乱がなければ決勝リーグへ勝ちあがる4強はワクナガ、日体大のほか大同又は大崎、三景又はスワロー兵庫となる。

組み合わせは第2日終了後に発表されるが、こう並べてみると6月の日本実業団リーグ(名古屋)でつばぜりあいを演じたワクナガ×大同又は大崎の決戦となる公算が強い。

日体大は初戦の相手がどこにな

るかでその後の展開も変わってくる。キャリアにおいて実業団勢に一步をゆずるだけに北川監督のベッチワークも一つのポイント。最終戦までもつれにもつれ得失点差争いというケースも充分考えられよう。

示せ、後続の意気

◇参加チームを3組に分け予選トーナメントのあと、各組勝者により決勝リーグ。

女子

トッププレイヤー14人が世界選手権で欠け、しかも留守軍で国体1位となった大洋デパート(熊本)が勤務の都合で出場を見合せたため、内容的にはちょっと淋しくなりそう。反面、優勝争いは混戦模様、その意味での面白味は充分にある。全体的な展望をまずしてみると大崎電気も東京重機も田村紡も「絶対」の自信はあるまい。

ベストメンバーの日本ビクターも、国体で勝っていたならともかく、若い大洋デパートにおさえつけられており「本命」には推しがたい。ブラザー工業もいぜん不安定。打倒実業団というには気がひけようが学生勢にとってチャンスであることは事実。

日体大は早くからこの大会に照準をあてて張り切っているというし、東京教大の戦力アップも相当なものだ。

高校界代表の山陽女高が面白いところからんだ。東女体大は全日本学生の準優勝校。ヘタな試合はできない。クラブ勢は曲者が並んだ「顔」の美和ク、来秋の国体に備える鹿児島ク、和歌山国体で話題をさらった徳山ク。いずれも成算あつてのエントリ。一発を狙つての斗志は悔れまい。

そうはいうものの練習環境による体力、戦力のちがいが実業団の進出はまちがいないところではなかるうか。

順当ならば日本ビクター、東京重機、ブラザー工業。ビクターはようやくチームとしてのまとまりがでて来た。蓮見姉、江川、八重樫らのベテランに大塚、谷沢、高野、蓮見妹ら若手が溶けあい攻守とも鋭い。東京重機はエース牧野と働き手の滝口、古佐原が欠けるのが痛い

が鷺谷、村上、GK長岡らでどうか調子は上向きという。有力メンバーを揃えながらも一つカベを突き破れないブラザー工業は、この大会あたりで花を咲かせたいところ。

金村、原川、藤浪、長塚、森本島井、GK佐藤とベストメンバーが揃えば優勝に手が届かぬはずがない。

この三チームに代るとすれば大崎電気×日体大の勝者、田村紡、東京教大あたりだろう。山陽女高が一般チームにはさまでかつての半田高(愛知)静岡城北高、菊池農高(熊本)などのような旋風を巻き起こすかどうか。大きな話題である。

クラブ勢の中では鹿児島クが目される。姫野、水上、GK松田ら東女体大で活躍していた若手OGが中心である。

精鋭で固めた全日本が本場・ヨーロッパでも高い評価を得ているだけに後に続くこの大会の内容は今後の女子界の消長にもつながるもので、各チームの奮起によって男子に劣らぬ白熱した好内容の連続を待望したい。

来年も東京で開催

日本協会は、来年の第24回全日本総合選手権を12月6日から10日まで東京体育館を主会場にして開くことを決めた。

さわやかなバブルガム

アイスクリー-ガム BUBBLE GUM

オレンジ アップル ストロベリー バナナ パインアップル グレープ



カバヤ・リーフ株式会社・岡山市下石井1-2-3

日本本番に自信の試合ぶり

1214勝

全日本女子、欧州転戦第1報

【クロニク(デンマーク)】ほか欧州各地にて日本女子選手団コーチングスタッフ(山田監督 宇津野・井コーチ)発。日一日と世界選手権が迫るなかで元気に各地を転戦。6年近い国際経験の空白を一気に埋めるべく選手も意欲的な攻守を示し、多くの「収獲」を身につけている。西ドイツ戦までの通算成績は14戦12勝2敗。12月1日深夜オランダ入りする予定だ。

第1戦で『当面の敵』降す

遠征第1戦は11月3日夜クロニク(デンマーク)でデンマーク・ナショナルと行い快勝、幸さきよいスタートを切った。

日 本 14 (6-6) 12

日本チームは2日(日本時間)に母国を発ったばかり、いきなりナショナルチームと対戦したが数年間のブランクを感じさせないスピードにあふれた攻守で善戦、鮮やかに勝利を奪った。両チームは12月の世界選手権の第1次リーグで顔を合せる。(この項UPI・共同リメンバー未着)

後半、一気にスパート

遠征第2戦はスカンデルヨルグ(デンマーク)のキェルラップ・ホールに約一千の観衆を集め、フンデル・GFクラブと行った。

日 本 19 (7-3) 10

得点	0	4	0	0	3	0	2	0	1	0
ゴールキーパー	ルン	ルン	ルン	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
DF	ト	ト	ト	セ	セ	セ	タ	ソ	ヤ	セ
MF	ク	ク	ク	ド	ド	ド	レ	ル	ギ	ツ
FW	ラ	ウ	ウ	ハ	ハ	ハ	ソ	リ	ム	オ
	エ	ラ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ
GK	本	岡	原	水	野	尾	毛	田	口	原
	北	小	垂	牧	寺	三	島	滝	古	渡
	0	0	5	0	8	1	1	2	0	1
	0	0	5	0	8	1	1	2	0	1

19 (1) 7MT (6) 10

その他の出場者 FP 三宅得0 相手はデンマーク一部リーグのA級チームだったが、はるかに日本の動きが優った。

しかし、8本の7MTを課せられ(このうち6ゴール)たために前半は思うように点差を開けなかつた。

前半同点の熱戦

遠征第3戦はスウェーデンでの第1戦として11月7日ボーレンゲのマッセル・ホールに五百人の観衆を集め地元の強豪ボーレンゲ・

得点	0	4	0	1	0	5	0	0	0	0
ゴールキーパー	日	本	15	(7-7)	11	ゲ	ボー	レン	ゲ	・
DF	ウ	エ	ル	カ	ー	ラ	ド	ル	ソ	ル
MF	ビ	ビ	フ	セ	エ	ヨ	リ	オ	ヤ	バ
FW	ウ	エ	ル	カ	ー	ラ	ド	ル	ソ	ル
	エ	ル	カ	ー	ラ	ド	ル	ソ	ル	ホ
GK	本	原	岡	水	野	尾	毛	田	口	原
	北	小	垂	牧	寺	三	島	滝	古	渡
	0	0	3	3	6	0	0	3	0	0
	0	0	3	3	6	0	0	3	0	0

15 (3) 7MT (4) 11

相手チームの※印はナショナルプレイヤー(以下同じ)。スウェーデンは4月の予選で、西ドイツと対戦していることから日本にとってはスウェーデンの対戦は貴重。

デンマーク同よう要所で7MTをとられ接戦となったが、後半は日本の走り勝ち。

ア予選を担当する人。今夜の試合の入場料は捌く500円だった。

鮮やか、4連勝飾る

遠征第4戦はマツチンナッカ・スポーツホールに約九百の観衆を集めストックホルム選抜と行った。

得点	0	3	0	0	0	0	5	1	2	0
ゴールキーパー	日	本	20	(10-1)	3	11	フ	スト	ック	ホルム
DF	ス	ト	ク	ス	ト	ク	ス	ト	ク	ス
MF	ヘ	リ	コ	メ	ベ	カ	ハ	ノ	ア	オ
FW	ヘ	リ	コ	メ	ベ	カ	ハ	ノ	ア	オ
	ヘ	リ	コ	メ	ベ	カ	ハ	ノ	ア	オ
GK	本	原	岡	尾	宅	水	辺	野	浦	尾
	北	小	枝	三	垂	渡	牧	寺	三	島
	0	0	0	0	5	1	8	2	0	0
	0	0	0	0	5	1	8	2	0	0

20 (0) 7MT (5) 11

日本は前半からスパート渡辺、垂水の大洋コンビを軸に着々と点、快勝した。ノードストリヨムはスウェーデンナショナルの主力、なかなかシャープなプレーを見せた。

遠征第5戦はルーマニアでの第1戦として11月10日ルーマニア・チャンピオンブカレスト大学とブ

《本格派》

デサント
スポーツ服装

- ハンドボール ●ベースボール
- ゴルフ ●スイミング ●スキー

純競技仕様

=すぐれた機能は美しい=

デサント製品はすべて本格派の名にはじない《純競技仕様》……その孤高の世界へ肉迫した成果をご着用下さい。

THE BEST
for typical sportsmen

original by

DESCENTE

スポーツ服装専門メーカー
株式会社 デサント

全日本女子選手団

監督	山田 計 (49)
コーチ	宇津野年一 (48)
コーチ	井 薫 (34)
GK	小原 名苗 (23) 大洋デパート
	北岡 千賀 (23) 愛知教員ク
FP	枝尾 清女 (24) 大洋デパート
	三宅美智子 (24) 大洋デパート
	垂水 秀代 (23) 大洋デパート
	渡辺須和子 (23) 大洋デパート
	米 恵美子 (23) 大洋デパート
	滝口 治代 (22) 東京重機
	牧野 涼子 (22) 東京重機
	三毛 直子 (22) 田村紡
	寺尾由美子 (22) 大崎電気
	三浦 朝子 (21) 大崎電気
	島田 夏枝 (21) 大洋デパート
	古佐原ひろ子 (21) 東京重機
随員	中川 葵 東急航空

カレスト市のサラフロレスカ体育館に約三百の観衆を集めて行い、日本は初黒星を喫した。

ブカレス 18(11-7)14 日
ト大学 (71-7)14 日

得006117201000
ビアダナナナリアナトア
ステイ レワレ マオウマ
カレギ レワレ マオウマ
ブガオー ク ミイオ
【ガリアエドニミイオL

本原岡尾宅水 辺田毛野
日小北枝三垂 渡島三牧
得00204071000
ルーマニア国内リーグで初優勝
したブカレスト大。さすがにたく
ましい攻守を示した。特に速い動
きと巧妙なショートパス、ポスト
プレーは参考になった。
しかし「勝てない相手ではないし
(宇津野コーチ) し、もう少し速

攻が決まればモノにできたろう。
この試合でも7本の7MTをと
られ6点を失うなど防禦面におけ
る判定解釈にとまどいを感じる。
本大会までに欧州のジャッジン
グに慣れることが急務だ。

ルーマニアナショナルに惜敗
遠征第6戦は11月13日サラフロ
レスカ体育館でルーマニアナショ
ルーマニア 18(9-5)12 日

得000172330011
アスリルルスタイスラワ
ニス ヤーイ セリ ユアコ
マブザイギロ クー デ
ルモ ギコー ーゼ バ
ルクリブパアミオズイムフ

GK 岡原尾宅水 辺野田宅
日北小枝垂 米 渡牧島三
得001215120

本 12(0) 7MT (1) 18 本

ナルと行った。
今遠征の一つの「ヤマ場」とも
云える試合だった。立ちあがりル
ーマニアは2、3分にゲット、日
本も9分渡辺が返し接戦模様、一
進一退のあと日本は15分島田、16
分米で4-5。このあとルーマニ
アの左腕アーギイル(ブカレスト
大)に連続ゴールを許したのが痛
かった。

日本もひるまず食い下ったもの
の2点差までが精いっぱい。後半
開始後2ゴールを許して11-7と
され相手に主導権を与えてしまっ
た。終了間ぎれ12-15から3点連
取されたのも反省の材料。

問題の7MTはともかくも2本
におさえ(失点)ることができ
た。エリア内のラインクロース、
シュート時のひっかけは文句なく
吹笛され、大柄な選手に押しま
れるとどうしても日本の体格ハン
デがマイナスになってくる。

ルーマニアは日本同ようディフ
エンスは早いつぶし、強烈なアタ
ックを多用し、相手の攻撃の芽を
反則で(7MTにはならない程度
の……)逃れる策戦が実に巧妙で
ある。

敗れたとはいえ世界選手権の優
勝候補と互角に試合を進め得たこ
とは日本の速い動きとフォーメー
ションプレーが充分に世界で通用
することを確認できた。なお、レ
フェリーはハンガリーのケステリ

イ、フロップの両氏。
練習試合 日本×ルーマニアナ
は分ける ショナルチームの練
習試合は11月14日行われ13-13
(前半日本7-6)で引き分けた。
日本の得点は牧野4、垂水、米
古佐原、島田各2、三毛1。

フランス第1戦は一方的
遠征第7戦はフランスにおける
第1戦として11月17日ボルドー市
のスポーツパレスに約千五百の観
衆を集めアクイタヌクラブと行
った。

日 本 26(12-14) 3(8) アイヌ
得002240100001000
スドンズレルルンルンル
イルワ ーダゴコギゴル
タガドルルジュマンゴンボ
クスー ルイルルマンボ
【アレボクカタヴボMデガDデ

ドの拍手をあびた。(この項フラ
ンススポーツ紙「レキブ」から)
▽遠征第8戦(11月19日・アング
レーム)
日 本 30(14-16) 3(3) アングレ
▽第9戦(11月21日・パリ)
日 本 15(7-8) 9(13) フランス
▽同第10戦(11月23日・パリ)
日 本 13(6-7) 3(7) フランス

日本のディフェンスはまったく
アクイタヌにつけているスキを与
えぬほどみごたかった。特に全試
合のうち半分以上出場したGK北
岡の大たんな守りとFP陣の鋭い
出足は目についた。

攻撃面でも7点を叩き出した左
腕の渡辺をはじめ全員がスピード
にあふれた組織攻撃を示しスタン

▽同第11戦(11月25日・アルステ
ルドルフ体育館)
日 本 9(6-3) 4(7) ハンブル
▽同第12戦(11月26日・デュッセ
ルドルフ)
日 本 18(11-7) 8(13) ニーダー
技 ライン選

▽同第13戦(11月28日・ミンデン)
日 本 16(10-6) 7(7) アイント
ラハト

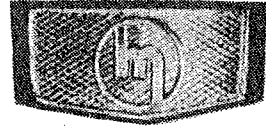
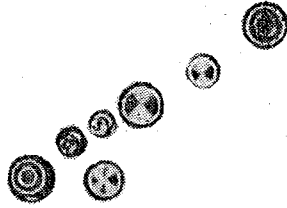
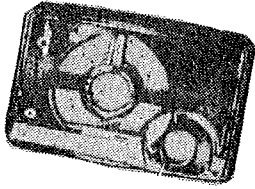
▽同第14戦(11月29日・ベルグ体育館)
日 本 18(10-8) 2(10) 西ベルリ

西ドイツでも4連勝

(注)第8戦以降の詳報は次号。
渡辺が 欧州遠征で好調なブレ
打撲傷 1をつづけていた渡辺
須和子選手は11月26日の試合で相
手のJ・ワルツラウド選手と激
突、ヒザにかなりの打撲をうけ世
界選手権出場が危ぶまれている。

プラスチックの総合メーカー

メッキは金属だけでは……
……ありません!



精密金型設計・製作

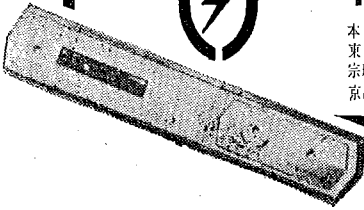
マイクロプラスチック成型

プラスチックメッキ



株式会社 宗形製作所

本	社	大阪府高槻市辻子241番地	TEL	高槻	(0726) 75-5551
東	北	福島県福島市清水町字中谷地48番地	TEL	福島	(02452) 13-2812・2911
宗	形	大阪府高槻市辻子252番地の1	TEL	高槻	(0726) 75-5767~8
京	都	京都市南区上鳥羽花名町19番地	TEL	京都	(075) 68-9701



競技専用は

《タイガーハンド》[®]だけ!

みごとなプレーを
展開してください。



タイガー[®] ハンドボールシューズ

オニツカ株式会社 神戸・大阪・名古屋・東京・札幌

革/¥5,200
布/¥1,300

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
海外トピックス

杉山 茂

東ドイツ、強味示す

「カルパティア杯」

数ある国際大会のなかでも屈指のビッグイベント——第12回カルパティア・マウンティンカップは今年もクルージュ（ルーマニア）で10月25日から31日まで女子、11月9日から14日まで男子がそれぞれ激戦を展開した。

世界選手権（12月・オランダ）の前哨戦ともいえるべき女子は優勝候補の東ドイツ、ハンガリー、ルーマニア、ユーゴにオランダとソビエトが出場、リーグ戦で争われた。

予想どおり東ドイツが抜群の攻撃力で勝ち星を重ね、最終戦で地元、ルーマニアの奮起にあい引き分けたものの危なく優勝を飾り「ワールド・チャンピオン」がますます有力となって来た。ハンガリー 13—6 オランダ

東ドイツ 18—9 ユーゴ
ルーマニア 16—10 ソビエト
東ドイツ 13—10 ハンガリー
ユーゴ 10—8 ソビエト
ルーマニア 20—9 オランダ
東ドイツ 19—8 オランダ
ハンガリー 13—9 ソビエト
ルーマニア 13—11 ユーゴ
ユーゴ 6—5 オランダ
東ドイツ 17—12 ソビエト
ハンガリー 15—9 ルーマニア
ハンガリー 14—7 ユーゴ
オランダ 8—6 ソビエト
東ドイツ 14（分）14 ルーマニア

【順位】①東ドイツ4勝1分②ハンガリー4勝1敗③ルーマニア3勝1敗1分④ユーゴ⑤オランダ⑥ソビエト

男子はユーゴが優勝

一方、男子は7ヶ国8チームが参加、連日三千をこすファン注目のうちに行われ、予選リーグ（2組）では世界チャンピオンのルーマニアをはじめユーゴ、ハンガリー、西ドイツのオリピック出場決定国が順当勝ちした。

決勝リーグははげしい星のつぶし合いの末、ユーゴが2勝1分1勝2分のルーマニアをおさえ優勝した。

ハンガリーの充実とノルウェーの健斗も目立った。

なお、個人の得点争いはグルイア（ルーマニア）とマロシ（ハンガリー）が26点をマーク、1位を分けあった。

▽予選リーグA組
ルーマニア 15—12 ノルウェー
西ドイツ 22—13 フランス
西ドイツ 19—15 ノルウェー
ルーマニア 26—16 フランス
ルーマニア 19（14—8）15 西ドイツ
アルウエー 5（7—8）15 西ドイツ
ノルウェー 24—11 フランス

▽同B組
ユーゴ 21—16 ルーマニアB
ハンガリー 27—16 スペイン
ハンガリー 19—16 ルーマニアB
ユーゴ 29—15 スペイン
ユーゴ 24（13—11）15 ハンガリー
ルーマニアB 20—17 スペイン

▽決勝リーグ
ユーゴ 18（11—9）16 西ドイツ
ルーマニア 19（10—11）19 ハンガリー
ハンガリー 19（12—10）19 西ドイツ
ユーゴ 17（9—10）17 ルーマニア
ユーゴ 8（7—7）17 ア

【順位】①ユーゴ②ルーマニア③ハンガリー④西ドイツ

なお5位以下は順位決定リーグの結果⑤ノルウェー⑥ルーマニアB⑦スペイン⑧フランスとなった

ハンガリー、東ドイツ食う

オーストリア国際トーナメント（男子）は11月1日から3日までウィーンに4ヶ国が参加して開か

れハンガリーの進出に注目が集った。

ハンガリー 20（19—5）10 オーストリア
東ドイツ 22（12—10）9 スイス
オーストリア 12（9—3—6）11 スイス
ハンガリー 21（12—9—7）15 東ドイツ
ハンガリー 23（11—11—11）17 スイス
東ドイツ 20（9—11—4）8 オーストリア

【順位】①ハンガリー②東ドイツ③オーストリア④スイス

ヨーロッパ杯の組合せ

第12回男子ヨーロッパカップの組み合わせが発表された。

前回優勝のグンメルスバッハ（西ドイツ）は今春4月来日）はリスポン・ク（ポルトガル）を抽きあて優勝が予想され、アジア予選に出場したホフマン、ヴァンダロビツらの所属するハポエル・ベタテイクバ（イスラエル）はハフナルフォルド（アイスランド）と、またL・エリクソン、C・ストリヨムらの（ヘルラス・ストックホルム（スウェーデン）はインタ・ハースタル（ブルガリア）と対戦する。

このラウンド屈指のカードはMAI・モスクワ（ソビエト）とGWダンケルセン（西ドイツ）だろ

関東一円をネットする…ワイドサービスチェーン

医薬品全般
高級化粧品



株式会社 日進商会

日体、中央破り4連勝飾る

女子も日体、完ぺきな攻守

全日本学生

第14回(女子第7回)全日本学生選手権は11月3日から7日までの5日間東京・駒沢屋内球技場(第1、第2日駒沢体育館併用)に男子32校、女子10校が参加、トーナメントで優勝を争った。オリンピックアジア地域予選を一週後に控えて熱戦が期待されたが、意外なほど盛りあがらず平凡な内容に終始した。

男子は2回戦で前回準優勝の同志社(関西)が名城(東海)に逃げ切られた小波乱のほかに有力校が順当に勝ち残り、結局ベストフオアは関東勢が独占、予想どおり日体・中央の対決から日体が後半の中央の反撃をかわし4年連続4度目の学生チャンピオンとなった。

女子は関東4校が関西、東海勢を制し、3年つづけて日体・東女体大の決勝となったが日体が得意の速攻で快勝、2年連続6度目の優勝を遂げた。日体の男女優勝は2年連続3度目。

大阪経大、早稲田を破る

▽男子1回戦

芝浦工大 (関東)	23 (14 9 3)	8	京大 (関西)	19 (10 9 5)	9
東京教大 (関東)	20 (11 9 3)	7	名大 (東海)	19 (7 12 12)	18
九州産大 (九州)	18 (8 10 6)	14	同志社 (関西)	27 (11 6 4)	8
中京大 (東海)	21 (14 7 3)	6	中央 (関東)	14 (6 8 5)	13
関大 (関西)	36 (23 13 9)	12	山大口大 (中四国)	19 (10 9 5)	9
日体 (関東)	25 (10 15 1)	8	法政 (関東)	29 (11 18 4)	7
関学 (関西)	23 (14 9 6)	13	早稲田 (東海)	8 (3 5 3)	5
国士館 (関東)	22 (11 11 7)	15	早稲田 (東海)	8 (3 5 3)	5
大阪体大 (関西)	38 (21 17 5)	7	早稲田 (東海)	8 (3 5 3)	5
立教 (関東)	14 (11 3 8)	13	早稲田 (東海)	8 (3 5 3)	5

京都産大 (関西) 19 (10 | 9 | 5) 9
 山口大 (中四国) 19 (10 | 9 | 5) 9
 大阪経大 (関西) 8 (3 | 5 | 3) 5
 早稲田 (東海) 8 (3 | 5 | 3) 5
 名城 (東海) 19 (7 | 12 | 12) 18
 東京学芸大 (東海) 19 (7 | 12 | 12) 18
 同志社 (関西) 27 (11 | 6 | 4) 8
 西南学院 (九州) 27 (11 | 6 | 4) 8
 中央 (関東) 14 (6 | 8 | 5) 13
 松山商大 (中四国) 14 (6 | 8 | 5) 13

○……順当な結果のなかでスタンを沸かせた試合が二つあった。大阪経大×早稲田。ともによく走ってテンポのある好試合となり早稲田が先手をとって進んだが関西1位の自信をもつ大経大は22分原のゲットで3-1-3。そのあと26分津川、29分20秒員原とたたみかけて優位を奪った。早稲田は後半3分7MTの成功

点差をつけられたが、後半激しく反撃20分15-16。しかし名城は24分、26分2点を加え辛くも逃げ切った。期待された仙台大は前半の健斗が精いっぱい、金沢工大もほとんど勝機はなかった。

名城、同志社をかわす

▽同2回戦

日体 (関東)	26 (14 12 6)	11	関学 (関西)	26 (14 12 6)	11
大阪体大 (関西)	21 (12 9 5)	12	国士館 (関西)	21 (12 9 5)	12
京都産大 (東海)	13 (7 3 1)	4	立教 (関東)	13 (7 3 1)	4
法政 (関東)	12 (7 5 2)	5	大阪経大 (関西)	12 (7 5 2)	5
芝浦工大 (関東)	20 (11 9 8)	15	東京教大 (関東)	20 (11 9 8)	15
中京大 (東海)	19 (8 11 2)	4	九州産大 (九州)	19 (8 11 2)	4
中央 (関東)	20 (10 10 8)	11	関大 (関西)	20 (10 10 8)	11
名城 (東海)	15 (9 7 6)	13	同志社 (関西)	15 (9 7 6)	13

○……名城が同志社を食う波乱があった。名城の立ちあがりには好調、1分銅沼のゲットを口火に8分までに5点をたたき出した。同志社にしてみれば、考えるまもない失点だったろう。15分すぎからようやく攻撃にテンポがでてきたが、2点差まで追うのやがやと。後半も名城の堅実なプレーに追いこんでは突き放されるという試合ぶりです。25分12-13で逆転の期待をもたせながら15秒後名城、福

黒の中の“純黒”男っぽいやつ



三菱鉛筆株式会社



三菱ボールペン 純黒 BA-31 ¥30

田のシュートを許し、ついに名城が逃げ切った。

○……法政×大経大のせり合いはこの日いちばんの内容だった。

1-2とリードされた法政は15分小石川の7MTでタイとしてから落ち着き16分、21分荒井の巧技と22分小石川のゲットで5-2と主導権を握り、後半いちど2点差まで詰められながら優位をキープ25分以後の鮮やかな連続攻撃につなげた。

○……京都産大が立教を破った。今春1部入りを果たし上り坂の京都産大は発らつとした攻守で立教を圧倒、特に大原の鋭い攻撃力は目立った。

立教は前半26分に初ゴールという精彩のなで、新進斜陽の対照があまりにもハッキリしていた。

往年の黄金カード日体×関学も前半9分4-4まで、その後は日体が速攻を爆発させて快勝、関学はなすがままにゆさぶられた。

大体大、日体に及ばず

芝工大、執念のベスト4

▽同準々決勝

日 体 12(6-7)9 大阪大体大

○……日体を目標に精進する大体大の気力は、立ちあがりたえず先行を許しながらすぐに追いつく粘りに爽り好試合となった。

得00020002401000
【大】坂倉井田山本出村山永本内

GK 審 斉藤 近藤

得002010144000
【日】誠村精井原下藤岡原木田江

得002010144000

○……試合巧者の日体は前半終了直前松岡がゲット、6-7。結果論だがこの1点はその後の戦局に影響する貴重なゴールであった。後半に入ると日体はすぐ反撃に転じ1分浅原でタイ、5分と7分(7MT)高橋精の巧技で主導権を奪い返した。

守りの動きもよくなり、大体大に得点機を与えず20分すぎ9-8から浅原の連続得点で勝利を決定づけた。大体大の進境が印象づけられた一戦。

政 6(3-2)5 京都産大

得0020000110010
【都】森 林菅 内生井田川本原沢

得000011310000
【法】佐川荒小田長吉川 柳 井太

得000011310000

得000011310000

得000011310000

得000011310000

12(1) 7MT(4) 9

6(2) 7MT(0) 5

○……前半10分互いの動きをさぐりあうだけでノーゴール、11分になって法政はようやく小石川がゲット、16分には7MT田上が1点を加えた。

京産大は、さして好調とは思えぬ法政ディフェンスを攻めあぐみ21分福井が初ゴールという貧攻、さらに3-1から29分が1点を返して一応勝負を後半にかけた。

法政は後半開始後いきなりスパート、相手の反撃を最小限におさえ15分6-4としたがその後ピタリ攻撃がとまり、20分戸田に返されて危かったが、辛くも逃げこんだ。

重苦しいだけで迫力のない凡戦。

中 央 21(9-14)10 名城

得002140120000
【城】内橋島中沼野田口塚藤井崎

得00051723120000
【中】近要土木光石輪中田村田

得00051723120000

得00051723120000

得00051723120000

得00051723120000

得00021002000000
【京】井林縄目島田川村玉橋本城

得00021002000000

○……部員不足のうえに主軸の大井、新実を全日本に送りこんだ芝工大。OB連中は「1回でも勝てば……」と思ったそうだが、執念で準決勝まで勝ちあがった。名門の意地ともいえたし、みかたをかえれば今大会のハイライトともいえた。

○……それにしても中京は不甲斐なかった。後半5分まで実に35分間ノーゴールというはどうしたわけか。

かつての中京は、OB選手一丸になって打倒関東に燃えていたものだ。奮起を待ちたい。

学生の試合を大きく左右するのはやはり「気力」の一語につきる。

5位に大阪大体大決まる

▽同5位決定戦予備戦(2試合)

大阪大体大 22(10-14)7 名城

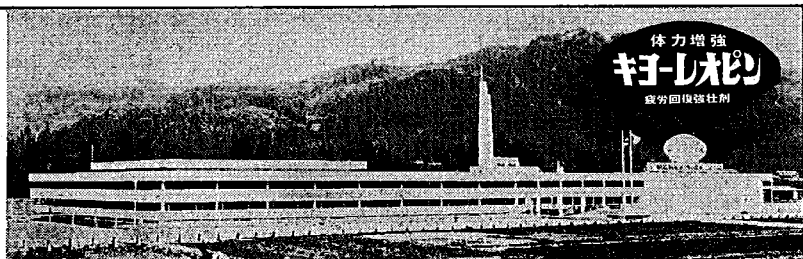
中 京 9(6-15)6 京都産大

▽同5位決定戦

大阪大体大 16(10-5)11 中京

近代化を誇る 湧永薬品広島工場

湧永薬品株式会社



体力増強 キー-ラピッド 製薬回復社

本社/大阪市福島区上福島南3-142 TEL. 06-458-8901-5
東京支店/東京都港区三田2-7-16 TEL. 03-451-6996-7891

支店/横浜・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌
工場/広島・和歌山

得002304100001
 京中林嶋島目田川村玉込本城
 【中福小長小夏成小棍小渡松銅】
 GK F P
 坂倉井田山本出村田山永本
 得00220001500060
 【大逢六藤中桐阪中中山丸福坂】
 GK F P
 16 (1) 7MT (2) 11

日体、法政に制勝

▽同準決勝

日 体 13 (7-12) 6 法
 得00311100010000
 【政】畑藤井川上川野田林島手
 【法】川佐荒小田長吉太小川井

得00411100140001
 【日】誠村原下井精雄富原江田岡
 【体】高野松岩喜高佐佐浅細藤松
 得00411100140001
 ○……法政は好スタート。荒井の
 巧技で4分21を先行したのだ
 が、なんとこのあと30分間ノーゴ
 ール。日体は9分松原で追いつい
 たあと着々とポイントをあげ引き
 はなした。

後半3分7MT (田上) で法政
 は3-6とし反撃に期待をもたせ
 たが、またしても17分近く無得点
 という凡攻、せっかくよい動きを
 しながら波のつた攻撃を見せら
 れず自滅したのは惜しい。

中央、後半に突き放す

中 央 18 (9-17) 10 芝浦工大

得0 14220100
 浦田 全石江富田部川保
 【芝浦】木明細門黒三古宮
 GK F P

得0
 【中央】要木石光土中輪田関田
 【上】藤々藤井
 【井】佐佐白佐小田花会今塩
 得0 9600010020000
 ○……15分3-0と中央がリード
 した時は味気ない準決勝に終るか
 にみえたが、そのあと芝工大が追
 撃、もつれた戦局になった。勝負
 のヤマは後半5分10-9から中央
 が佐藤要のゲットを口火にチャ
 スを確実に得点に結びつけた場面
 にあった。

特に13分以後佐々木、花輪のコ
 ンビが多彩なプレーでたみかけ
 るようにゴールを割った3得点は
 鮮やかで20分15-9と開いた。
 手うすな陣容でベスト4まで勝
 ち残った芝工大の健斗は大いに賞
 されてよいだろう。

3位は法政、4位芝工大
 ▽同3位決定戦
 法 政 20 (11-7) 14 芝浦工大
 得0 40350110
 【工】石富江全部田川保
 【田】芝浦
 【芝】門明細木三黒古宮
 GK F P

得0
 【法】畑藤井林川田上川野 島手
 【政】川佐荒小太田長吉 川井
 得007130305100
 20 (0) 7MT (1) 14

中央、後半の追撃及ぼす
 日 体 12 (7-3) 8 中 央
 得0003030120000
 【上】近光要輪木土石中田田田
 【央】藤藤々々井
 【井】吉佐佐花佐小田田会塩村
 GK F P

▽同決勝
 日 体 12 (7-3) 8 中 央
 得0003030120000
 【上】近光要輪木土石中田田田
 【央】藤藤々々井
 【井】吉佐佐花佐小田田会塩村
 GK F P

斗志むき出しの両校の対決は最
 終日になってようやくコートサイ
 ドの熱気を誘った。
 中央は1分白石のゲットで先行
 意気あがるかみえたが、日体も

2分松岡で振り出しに戻したあと
 18分までに連続6ゴール、あっさ
 り主導権を握った。
 中央は、日体が珍しくスローペ
 ースの試合に持ちこんだため、攻
 撃のテンポを狂わされ20分すぎ佐
 々木の連続ゴールで点差をつめた
 だけだった。
 ○……後半、10分までに中央が3
 本のシュートを失敗したのに対し
 日体は4回の得点機を活かし9-
 3。

逆転に自信をもつ中央は12分
 佐藤要、13分と18分佐藤光と矢次
 早にシュートを決め3点差に迫っ
 たが、日体はその後を慎重に守り
 切り関東リーグの雪じよくを檜舞
 台でとげ学生王座をがっちり確保
 した。

ベスト4は関東勢占める

▽女子1回戦 (2試合)

甲子園学 18 (9-10) 2 日女体大
 院 (関西) (関東)
 中京女大 19 (9-3) 4 福岡教大
 (東海) (九州)

○……両試合とも力の差がはつき
 りしすぎ正直にいて勝負になら
 なかった。初登場の福岡教大はギ
 リギリのメンバーだったが元気の
 試合ぶりで17分3-5まで追いつ
 かったがその後は疲れものぞき大
 崎、安井らを中心とした中京女攻
 撃陣に走りまくられた。

地方勢、すべて姿を消す
 東京教大、大体大破る
 ▽同準々決勝
 日 体 16 (6-12) 3 中京女大
 (関東) (10-1) 3

○……関東・東海1位同士の対戦
 も、日体が立ちあがり一気に6ゴ
 ール、あっ気なく勝負が決まった
 中京女も悪いデキではなかった
 が、日体の当りの強い守りにもぐ
 りこめず結局はスピード差が勝負
 を色分けた。

日本ハンドボール協会検定球

新製品 / チェコ型

東京 タチカラ株式会社 大阪

東京教大 6(3-10)2 大阪体大 (関東) (3-2)2 (関西)

○……期待の一戦だったが大体大の攻撃陣が完封され予想外の凡戦に終わった。

東教大は9分畑中、10分山本(7MT)で優位に立ち、その後の展開に余裕を見せた。大体大は前半11本のシュートが実らず後半2分の77MT(玉岡)が初得点、反撃らしい反撃もみせずに敗退した

東京学芸大 4(3-11)2 中京大(関東) (1-1)2 (東海)

○……6分1-1のあと後半6分まで両校無得点という貧打戦。もう少し積極さがなければ学生界のレベルアップなどとも望めまい

勝負は後半15分2-2から学芸大が16分長嶺、17分浅井がゲット、メドをつけた。

東女体大 13(5-15)10 甲子園学(関東) (8-15)10 院

○……内容はともあれ活気のある攻防戦だった。

先手は甲子園が辻、白井らでとり6分3-0。東女体大はゆっくり反撃の機を狙い10分2-1、20分3-5と追いあげたあと21分高橋、22分本告がタイ、勝負を後半にかけた。

後半6分東女体大は6-6から7分堀江、8分川井で初めて優位に立ち、中盤は激しく得点を入れあう熱戦を演じたが、結局このリード点がモノを云い東女体が健斗の甲子園を破った。

東京教大、後半に力つく

東女体は学芸大に牽制

▽同準決勝

日 体 11(5-15)9 東京教大

得000330100311100

【東】田井辺沢田 本倉島中本本

【黒松渡並岡 山坂川畑橋松

GK 審(近藤 齊藤)

【黒原田塚貫村田田本本本木

得003310051100000

○……事実上の決勝といわれるにふさわしい試合だった。

東教大は立ちあがり2-0、後半開始直后7-6と2回つかんだ

優位をキープできなかったのが惜しまれる。

こころあたりが、飛躍の前に立ちあがるカベの厚さであるろう

東京学芸大 11(5-10)3 東京教大

得01001100000

【林 井島嶺元見野谷藤又

【学小 浅川長山初大大河

GK 審(近藤 齊藤)

【女】田上橋江井次良間谷田告井

得00200600011010

○……攻守に一日の長がある東女体大の順当勝ち。

学芸大は相手ディフェンスに動

きを完全に読みとられ、後半15分までなすべがなかった。

東京教大、3位を確保

▽同3位決定戦

東京教大 11(4-12)5 東京学芸大

得00331000000000

○……学芸大は12分まで2-1とアヘッド、東教大は14分から連続ゴールしてあっさり劣勢をはね返し、後半は坂倉の活躍で3位を決めた。

▽同決勝

日 体 16(12-11)7 東女体大

得00331000000000

【女】田上橋江井良間谷田告井塚

【増三高堀川屋岩塩西木石

GK 審(岡村 齊藤)

【原黒田塚貫村田木本林橋

得0040324102000

○……攻防両面でのスピード差が

れき然。お粗末な決勝戦だった。

日体は立ちあがりたてつづけにシュートを決め20分には12-0と開いた。

東女体大は機先を制されて乱れ

23分高橋がどうにか持ちこんで前半の完封をまぬがれただけだった

○……実業団に追いつけ、の掛け

声も一校や二校の奮起では実るま

い。女子学生界一丸となって目標

に突き進まなければ何時までも陽はささない。

▽……会場から帰途につく関係者やファンは誰もが浮かぬ顔をしていた。学生界といえは自他ともに斯界の最高峰を認めていたハズ。それがなんともお寒い内容の試合に終始していたからである。

オリンピック予選の影響でかなり変則的な日程を余儀なくされたのが一因といわれる。

秋のリーグ戦、そしてこの大会と大急ぎで消化。「ゆっくり調整するヒマがなかった」と有力チームの監督は口を揃える。

▽……リーグ戦に勝つコトも大目標である以上、短い期間に二つのヤマ場を迎えることはたしかにコンディションニングが難しい。

しかし、それを凡戦連続の理由にすることは許されまい

ズバリ、質の低下である。

これにも色々の理由がある

だろう。なかでも各校のかか

える部員不足はイコール層の

薄さにつながる。部内の競争

がないところに強チームの輩

出は期待できない。

▽……大学生のハンドボール

人口はむしろ増えているとい

われる。だが多くは同好会に

流れいわゆる体育会には入部

しないのである。

古い歴史と伝統をもつ学生

スポーツが一つの曲り角に来

全日本学生、すべてに反省が必要

ていることを学生界の関係者は改めて話し合い、研究すべきではないか。

▽……学生スポーツの最大特色を気力であるとしたら、この大会、文句なく芝浦工大を推したい。過去8回の優勝。名門の意地と執念は、部員不足をのりこえ、若手の未熟を上級生が実によくカバーしていた。

地方勢が中央勢になんとか一矢を最後まで食いつた

姿勢にも好感がもてた。当り前、といってしまうればそれ

だが、それが強く印象づけられるところに今回の低調が

物語られる。

▽……女子もいぜんパツとし

なかつた。実力差がはつきり

しすぎせりあいが無い。打開

の道である加盟校の増加につ

いて代表者会議で山本芳松氏

(中京女大部長)が要望と同

時に関係者の努力をせまった

が、聞き逃すことのできぬ警

鐘ではなかつたらうか。

▽……大会運営もかなり危い

橋を渡っていたようだ。

主力委員が1年ごとに卒業

していく役目である。

OBの熱意が以前よりも低

くなっているとしたら……。

それは競技の質の低下よりも

「おそろしいこと」ではなからうか。(鏡)

東海は中京が3連勝

秋の学生リーグ戦記録続報

松山商大、4大タイトル握る

北海道

◇第3回全道学生選手権 ◇11月13、14日 ◇釧路教大球技場 ◇参加5校

▽リーグ戦

北海道大	24	12	12	6	3	北見工大
釧路教大	26	13	13	9	12	小樽商大
北海道大	15	8	7	11	8	室蘭工大
小樽商大	15	6	9	6	6	北見工大
室蘭工大	16	5	11	9	6	釧路教大
北海道大	24	6	18	2	4	小樽商大
室蘭工大	15	9	6	2	4	北見工大
北海道大	24	13	11	3	4	釧路教大

東海(男子)

室蘭工大	17	6	11	3	7	小樽商大
釧路教大	17	7	10	7	8	北見工大
【順位】①北海道大4戦全勝②3シズン連続優勝③室蘭工大3勝1敗④釧路教大2勝2敗⑤小樽商大1勝3敗⑥北見工大4敗						
名城、後半の反撃とどかず						
東海	10	16	16	10	6	名古屋大
京	27	14	13	2	5	愛知教大
岐阜大	20	12	8	5	2	名古屋大
中	26	16	10	6	5	愛知教大
京	15	7	8	7	4	南
城	15	7	6	10	3	山
京	25	12	13	8	5	岐阜大
中	27	14	13	5	5	名古屋大
南	20	10	10	7	8	愛知教大
山	16	7	9	1	6	岐阜大
京	15	6	9	1	6	名古屋大
中	30	15	15	3	0	名古屋大
岐阜大	10	9	1	5	5	愛知教大
引き分け						
城	15	7	6	10	3	南
山	15	7	6	10	3	山

◇10月16日、27日 ◇愛知県体育館ほか ◇参加1部6校 2部6校 3部4校(岐阜歯大新加盟) ◇1部

名古屋大	12	7	5	1	5	愛知教大
南	16	7	9	1	6	岐阜大
中	15	6	9	1	6	名古屋大
京	15	6	9	1	6	名古屋大
城	15	7	6	10	3	南
京	25	12	13	8	5	岐阜大
中	27	14	13	5	5	名古屋大
南	20	10	10	7	8	愛知教大
山	16	7	9	1	6	岐阜大
京	15	6	9	1	6	名古屋大
中	30	15	15	3	0	名古屋大
岐阜大	10	9	1	5	5	愛知教大
引き分け						
城	15	7	6	10	3	南
山	15	7	6	10	3	山

▽2部 中部工大15-9 愛知大、名古屋大19-12 静岡大、愛知工大15-9 三重大、名古屋大16-5 愛知大、中部工大25-9 三重大、静岡大15-10 三重大、中部工大24-9 名古屋大、愛知大14-11 愛知工大、中部工大22-10 愛知工大、三重大11-7 愛知大、名古屋大20-10 愛知工大、中部工大18-14 静岡大、愛知大13-11 静岡大、三重大17-9 名古屋大、愛知工大16-14 静岡大

【順位】①中部工大5戦全勝②名古屋工大3勝2敗③三重大・愛知大2勝2敗1分⑤愛知工大2勝3敗⑥静岡大5敗

東海(女子)

◇10月17日、24日 ◇愛知県体育館ほか、◇参加4校(岐阜大新加盟)

京	9	3	6	1	0	愛知教大
中京女大	13	8	5	1	2	岐阜大
中	15	5	10	1	1	岐阜大
中京女大	17	9	8	1	2	愛知教大
中	17	8	11	2	6	中
中京女大	17	11	6	2	8	京
岐阜大	7	3	4	1	1	愛知教大
【順位】①中京女大3戦全勝②シズン連続3度目の優勝③中京2勝1敗④岐阜大1勝2敗⑤愛知教大3敗						
大阪体大、全勝で連覇						
関						
西(女子)						
◇10月3日、24日 ◇大阪府立大体育館ほか ◇参加4校①記録一部既報のため重複						



ミカドハンドボール

日本ハンドボール協会公認球



東京・豊島・巣鴨・7丁目1696
TEL (941) 2635・6592

大阪体大 18 (11-1) 2 大阪薬大
甲子園学 21 (13-1) 1 大阪教大
大阪教大 14 (8-2) 4 大阪薬大
大阪体大 18 (7-1) 3 大阪教大
甲子園学 26 (15-1) 2 大阪薬大
大阪体大 10 (4-2) 4 甲子園学

【順位】①大阪体大3戦全勝②シ
ーズン連続2度目の優勝③甲子園
学院2勝1敗④大阪教大1勝2敗
⑤大阪薬大3敗(夙川学院棄権)

目立つた京都産大の健斗

関西学生男子・統報

10月3日から24日まで1〜3部
各6校、4部9校によって行われ
1部は春季同よう大阪経大と大阪
体大が順当に勝ち星を重ね最終戦
で対決、大阪経大が前半巧く主導
権を握り2連勝を飾った。

1部初登場の京都産大が気力に
あふれた攻守で名門各校を降して
3位に食いこんだのはみごとだっ
た。

2部は関大が復調して全勝、1
部返り咲きも決めた。3部は近畿
大、4部は京都教大が大阪薬大を
破ってそれぞれ優勝。
▽1部 スコア前号速報
▽2部 関大21-14竜谷、京大27
-12神大、桃山学院33-15追手門
関大13-12桃山学院、京大20-11

追手門、神大23-17竜谷、関大20
-13神大、桃山学院18-14京大、
追手門21-14竜谷、関大19-13追
手門、京大20-16竜谷、桃山学院
24-12神大、追手門21-15神大、
桃山学院19-15竜谷、関大18-15
京大

関西学生秋季(男子1部)

負	0	1	2	3	4	5
勝	5	4	3	2	1	0
①	●	○	○	○	○	○
②	●	●	○	○	○	○
③	●	●	●	○	○	○
④	●	●	●	●	○	○
⑤	●	●	●	●	●	○
⑥	●	●	●	●	●	●

【2部順位】①関大5戦全勝②京大3勝2敗③大阪薬大2勝2敗④桃山学院1勝4敗⑤追手門1勝

▽3部 大阪市大16-9立命館、
近畿大17-16大阪府大、大阪大24
-8和歌山大、立命館20-9和歌
山大、近畿大15-12大阪大、大阪
市大17-15大阪府大、大阪府大24
-21立命館、近畿大30-14和歌山
大、大阪大16-11大阪市大、大阪
大14-13立命館、近畿大27-14大
阪市大、大阪府大20-10和歌山大
大阪大10-7大阪府大、大阪市大
25-13和歌山大、近畿大20-13立
命館

【順位】①近畿大5戦全勝②大阪大
4勝1敗③大阪市大3勝2敗④大
阪府立大2勝3敗⑤立命館1勝4
敗⑥和歌山大5敗
▽4部A組 関西外語大16-8大

阪外語大、大阪薬科大34-18天理
天理19-14大阪外語大、大阪薬科
大27-16大阪教育大、大阪教育大
12-10関西外語大、大阪教大20-
9大阪外語大、大阪薬科大18-12
関西外語大、大阪教大21-17天理
天理23-14関西外語大、大阪薬科
大36-12大阪外語大

▽同B組 京都教大34-15京都工
業繊維大、京都教大27-9大阪歯
大、大阪工大26-12京都工業繊維
大、大阪歯大26-13京都工業繊維
大、京都教大17-13大阪工大、大
阪工大27-15大阪歯大

▽同7位決定戦 関西外語大12-
8京都工業繊維大
▽同5位決定戦 天理18-11大阪
歯科大
▽同3位決定戦 大阪工大28-16
大阪教大
▽同優勝決定戦 京都教大12-6
大阪薬大

三つ巴、松山商大抜け出す

中・四国

中四国学生秋季リーグ戦(第10
回中四国学生選手権)は11月13、
14の両日香川・高松工業高グラ
ンで行われ、5校が参加した1部
は松山商大、山口大、広島大福山
が互いに星をつぶしあった結果、
優勝は得点差にもちこまれ松山
商大がプラス26で山口大、広島大

福山をおさえ3シーズン連続5度
目の優勝を飾った。選手権優勝は
44年の第8回大会以来3年連続。
なお、松山商大は今シーズン春
秋の中四国学生リーグ、第21回西
部学生、四国インカレと4つのタ
イトルを掌中におさめた。2部
(6校)は広島工大。

【順位】①松山商大3勝1敗②山口
大3勝1敗③広島大福山3勝1敗
④近大呉⑤広島大
【2部順位】①広島工大②岡山大③
香川大④広島商大⑤愛媛大⑥山口
大工学部

男子で名城が初優勝

女子は中京が4連勝

第12回愛知学生選手権は12月4
日から5日間名古屋体育館で行
われ、男子は準決勝で名城大が12
連勝を狙う中京大を1点差で降
し、名大を破ったBチームと優勝
を争い初優勝した。
女子は中京大が中京女大、B
を連破、4年連続5度目の優勝を
飾った。

11詳報次号

京都産大 第1回京都産大―九
初戦飾る 州産大定期戦は11月
1日京都・西京極体育館で行われ
京都産大が後半一気に勝負を決め
第1戦を飾った。
京都産大 23 (10-1) 14 九州産大

日本ハンドボール協会公認球

一番広く使われて居る!

サービス部
新宿区新宿2丁目電停前
TEL (341)2979・1016

望月運動用品KK
東京都墨田区横川橋4丁目6
TEL 本所 (622)0746

全日本総合へAOK栃木、桜丘会

全日本総合選手権(12月15〜19日・東京)に全国社会人(クラブ)代表として出場する2チームの決定戦は東、西デイビジョンに分かれて行われ東日本側はAOK栃木、西日本側は桜丘会がそれぞれ勝ちあがった。

◇

東日本デイビジョンAOK栃木(関東・栃木)と函館有斗高OB(北海道)の試合は11月21日茨城・水海道二高体育館で行われAOK栃木が制勝、代表に決まった。

AOK栃木 21(110-9)6 15 函館有斗高OB

◇

西日本デイビジョン奈良ク(近畿・奈良)と桜丘会(東海・愛知)の試合は12月5日・奈良・畷傍高校で行われ、桜丘会が快勝代表権を握った。

桜丘会(愛知) 27-23 奈良ク(近畿)

各地の記録

近畿クラブで奈良ク勝つ

第2回近畿クラブ選手権(男子のみ)は11月3、7の両日、京都・乙訓高校球技場に5県17クラブが参加してトーナメントで行われ

た。ベスト・フォアには予想どおり

国体などに出場経験のある奈良ク2連勝を狙う佐野工ク(大阪)、地元洛東ク(京都)、城東ク(大阪)が勝ち残り、結局、決勝は奈良ク×洛東クの顔合せから奈良クがチャンスを実に活かす巧みな試合運びで快勝、初優勝した。

▽1回戦(1試合)
洛東ク 15-9 東住吉ク(大阪)

▽2回戦
城東ク 29-16 八幡工OB(滋賀)

奈良ク 22-14 シルビア(京都)

星友会 15-13 寝屋川ク(大阪)

望会 18-15 デンタルズ(大阪)

佐野工ク(大阪) 20-11 高津製作ク(京都)

待兼ク(大阪) 15-14 塔南OB(京都)

ピンクイン(京都) 7-0 北陽ク(大阪)

▽準々決勝
城東ク 20(7-13)3 12 望会

奈良ク 20(12-8)6 6 12 星友会

佐野工 22(14-8)4 12 待兼ク

洛東ク 26(14-12)6 6 12 ピンクインデイク

▽準決勝
奈良ク 18(9-9)8 17 城東ク

洛東ク 12(7-5)5 6 11 佐野工ク

▽決勝
奈良ク 22(10-12)6 7 13 洛東ク

東海は桜丘会と清水ク

第2回東海クラブ選手権は11月21、28日の両日名古屋市体育館に男子16、女子3クラブが参加して行われ、男子トーナメントは準決勝で前年1位の名城ク(愛知)が蒲郡ク(愛知)に敗れる波乱があった。

決勝は愛知同士の顔合せから名門・桜丘会(愛知)が前半の優位を活かして初優勝した。

女子は決勝リーグの結果、清水ク(静岡)が優勝。

▽男子準々決勝
名城ク 26-16 二俣ク(静岡)

浦郡ク 21-6 東海ク(愛知)

清商ク 23-11 鏡島イーグルス(岐阜)

▽同準決勝
桜丘会 26-14 静農ク(静岡)

蒲郡ク 21-16 名城ク
桜丘会 19-10 清商ク
▽同決勝
桜丘会 17(6-11)3 14 蒲郡ク

▽女子決勝リーグ順位
①清水ク(静岡) ②名古屋ク(愛知) 清商ク(静岡)

▽第24回沖繩体育大会ハンドボール競技(11月・浦添高)

▽男子1回戦(1試合)
琉球大 19-15 全那覇

▽同準決勝
琉球大 21-16 沖繩大

▽同3位決定戦
中頭 20-17 沖繩大

▽同決勝
琉球大 14(5-9)3 11 国頭

▽女子決勝
中頭 14(6-8)1 1 5 琉球大

▽第11回青森県総合室内選手権(11月・青森西高)

▽男子準々決勝
青高ク 12-8 アニマルズ

大湊ク 26-3 弘前大OB

柏木農高 11-8 海猫クB

▽同準決勝
七戸高 14-13 カニク

▽同準決勝
青高ク 14-7 大湊ク

七戸高 14-13 柏木農高
▽同決勝
青高ク 14(9-5)6 4 10 七戸高

▽女子決勝リーグ
青森西高 11-0 三本木高

三本木高 8-4 青森高

青森西高 14-0 青森高

【順位】①青森西高②三本木高③青森高

▽山梨県高校新人大会(11月・甲府市)

▽男子準々決勝
甲府一 11-7 園芸

塩山商 14-3 明誠

吉田 11-6 大月付

▽同準決勝
機山工 10-4 日川

塩山商 16-6 甲府一

機山工 6-5 吉田

▽同決勝
塩山商 11(4-7)6 3 9 機山工

▽女子準々決勝
塩山商 11-3 一商

甲府商 4-3 甲府二

山梨 6-2 長坂

日川 8-2 吉田商

▽同準決勝
塩山商 10-1 甲府商

全仙台大に初の栄冠

▼第15回宮城県室内選手権(11月 仙台)

▽一般男子準決勝
白虹会 25-16 古川工OB
全仙台大 30-18 東北大
▽同決勝
全仙台大 23(16-7-9) 18 白虹会

全仙台大は初優勝

▽一般女子決勝リーグ

涌谷高 11-3 涌谷高OG
湧谷高 5-2 古川女高
湧谷高OG 9-7 古川女高
湧谷高は2連勝

▽高校男子準決勝

古川工 18-7 仙台一
育英 11-1 古川
▽同決勝
育英 7(6-1-2) 6 古川工
育英高は初優勝

育英、新人戦でも優勝

▼宮城県高校新人大会(11月・古川)

▽男子準決勝

育英 15-5 祇園寺
宮城水産 8-5 仙台一
▽同決勝
育英 17(10-1-1) 5 宮城水産
育英高は12年ぶり2度目の優勝

▽女子準決勝

古川女 7-4 塩釜女

浦谷 10-5 祇園寺
▽同決勝
古川女 5(2-1-1) 4 浦谷

古川女高は初優勝

近大呉、広島工大を破る

▼広島県一般男子秋季選手権(11月・呉)
▽準々決勝
広島工大 棄権 三菱レ大竹
近大呉 23-18 広島教員団
近大呉 16-5 広島商大
修道ク 11-5 広島大
▽同準決勝
広島工大 15-14 全広島大
近大呉 15(分)15 修道ク
抽せんて近大呉の勝ち

山陽女、新人戦も好調

▼広島県高校新人大会(11月・松本商)
▽男子準々決勝
呉三津田 16-14 松本商
呉港 15-4 呉商
山陽 9-6 宮原
呉工 20-9 修道
▽同準決勝
呉三津田 16-13 呉港
呉工 10-3 山陽
▽同決勝
呉工 11(5-3-6) 9 呉三津田

山陽女、新人戦も好調

近大呉 16(9-1-6) 7 広島工大

山陽女、新人戦も好調

静岡女 17-7 富士
御殿場 14-10 賀
清水商 20-10 御殿場
▽同決勝
清水商 11-3 沼津女
▽女子準々決勝
静岡城北 11-3 沼津女
浜松南 5-3 清水西
御殿場 13-2 清水女
清水商 9-1 二俣
▽同準決勝
静岡城北 9-0 浜松南
清水商 5-4 御殿場
▽同決勝
静岡城北 6-1 清水商

静岡女、新人戦も好調

静岡城北 11-3 沼津女

静岡城北 9-0 浜松南

清水商 5-4 御殿場

静岡城北 6-1 清水商

▼女子1回戦(3試合)
進徳 3-0 豊栄
山陽女 不戦勝 白木
呉商 8-3 宮原

▽同準決勝

第一女商 8-1 進徳
山陽女 10-0 呉商
▽同決勝
山陽女 6(3-3-0) 3 第一女商

伝統の両校いぜん強し

▼静岡県高校新人大会(11月・富士高)
▽男子準々決勝
清水商 31-6 修善寺工
富士 7-6 浜松南
御殿場 10-8 静岡農
賀 19-4 二俣
▽同準決勝
清水商 17-7 富士
御殿場 14-10 賀
清水商 20-10 御殿場

▼男子準々決勝

清水商 31-6 修善寺工

富士 7-6 浜松南

御殿場 10-8 静岡農

賀 19-4 二俣

清水商 17-7 富士

御殿場 14-10 賀

清水商 20-10 御殿場

静岡城北 11-3 沼津女

本田技研同士で争覇

▼第23回三重県総合選手権(11月 津高)
▽男子準々決勝
本田技研A 39-13 自衛隊久居
四日市工高 12-10 大協石油
本田技研B 10-9 日本合成ゴム
修球会 18-8 高田ク
▽同準決勝
本田技研A 18-10 四日市工高
本田技研B 18-14 修球会
▽同決勝
本田技研 12(5-5-5) 10 本田技研

▼男子準々決勝

本田技研A 39-13 自衛隊久居

本田技研B 10-9 日本合成ゴム

修球会 18-8 高田ク

▼男子準々決勝

本田技研 12(5-5-5) 10 本田技研

田村紡 24-3 暁

津女ク 10-3 上野商高

四日市高 13-6 四日市商高

暁 7-5 津女高

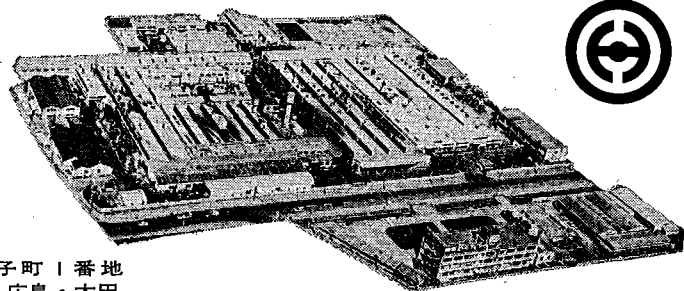
田村紡 20-2 津女ク

暁 9-7 四日市ク

田村紡 14(8-6-1-2) 3 暁

NHK
SPRING

日本発条



本社/横浜市磯子区新磯子町1番地
支店/東京・大阪・名古屋・広島・太田

国学院栃木高、清国産業破る
▼第19回栃木県総合選手権(11月 国学院体育館)

▼男子準々決勝
国学院栃木高A 13—4 馬題高A
足利工高B 11—10 宇都宮工高

国学院栃木高B 20—11 足利高
国学院栃木高C 21—20 清国産業

▼同準決勝
足利工高B 8—5 国学院栃木工
高A

国学院栃
木高C 27—17 国学院高
B

▼同決勝
国学院栃 25(1015—176)13 足利工高
木高C B

国学院栃木高系の優勝は5度目
▼女子準々決勝
国学院栃 23—5 馬頭高
木高B

小山城南高A 22—3 矢板中央高
国学院栃木高A 葉権 足利女高
小山城南高B 9—3 足利商高

▼同準決勝
国学院栃 12—4 小山城南
木高B

国学院栃 15—3 小山城南
木高A 高B

▼同決勝
国学院栃 7—6 国学院栃
木高B 木高A

茨城は全麻生勝つ
▼第21回茨城県総合(男子)選手
権(11月水海道一高)

▼準々決勝
自衛隊勝田 24—9 石岡一高

茨苑 9 18—9 麻生高
ドルズン 13—7 竜崎OB
全麻生 19—9 茨城大

▼準決勝
自衛隊勝田 15—14 茨苑ク
全麻生 13—9 茨城コンドル

▼決勝
全麻生 25(1114—1010)20 自衛隊勝
田

岡山教員、順当勝ち
▼岡山県一般男子秋季選手権(11 月・岡山工)

▼1回戦(2試合)
全倉敷 17—11 天城ク
津山高専 13—4 九州耐火

▼準決勝
岡山教員 16—13 全倉敷
児島柏会 15—11 津山高専

▼決勝
岡山教員 21(126—154)9 児島柏会

高校は倉敷工と真備
▼第26回岡山県高校新人大会(11 月・岡山工高)

▼男子準々決勝
津山商 13—6 勝間田
大安寺 9—4 邑久

倉敷工 10—8 児島
倉敷工 18—11 矢掛

▼同準決勝
津山商 11—3 大安寺
倉敷工 15—8 倉敷商

▼同決勝
倉敷工 15—8 倉敷商

倉敷工 13(8—14)8 津山商
▼女子1回戦(1試合)
落合 12—6 津山

▼同準決勝
真備 11—5 落合
津山商 18—4 金川

▼同決勝
真備 7(34—22)4 津山商

初芝、延長で上宮制す
▼第18回大阪府私学高校総体ハン
ドボール大会(11月・大阪)

▼男子準々決勝
上宮 17—4 此花商
浪商 5—4 桃山

大商 12—9 追手門
初芝 12—1 大阪学院

▼同準決勝
上宮 19—9 浪商
初芝 15—9 大商

▼同3位決定戦
大商 11—5 浪商

▼同決勝
初芝 15 上宮
芝 11—14

▼女子予選リーグA組順位①初芝
②大阪女短大附③東大阪④梅花
▼同B組順位①住吉学園②城南③
大谷④愛泉

▼同3位決定戦
城南 8—1 大女短大附

▼同決勝
住吉学園 6(4—2)3 5 初芝

男子で大和、女子日野が進出
▼神奈川県高校新人大会(11月・ 横浜)

▼男子準々決勝
一商 10—8 希望ヶ丘
新城 13—1 桐蔭

湘南(通) 8—7 市川崎工
大和 5(分)5 慶応

抽せんで大和の勝ち
▼同準決勝
新城 5—4 一商
大和 11—6 湘南(通)

▼同決勝
大和 7(3—3)6 新城
女子準々決勝

日野 5—2 市川崎
上溝 13—4 立野
明倫 5—4 江野

京浜 9—4 大津
▼同準決勝
日野 9—8 上溝
明倫 7—2 京浜

▼同決勝
日野 6(3—1)2 明倫

一般は日本発条が連勝
▼神奈川県秋季選手権(11月・横 浜)

▼男子準々決勝
日本発条 24—11 相友ク
セントラル自動車 13—12 日進商会

防衛大 11—7 三春台ク

慶応ユニコン 10—9 桜ヶ丘ク
▼同準決勝
日本発条 12—11 セ自動車
防衛大 12—7 慶応ユニコン

▼同決勝
日本発条 13 10 防衛大
30—5 5
00—7 3

▼女子決勝
東ク 10(5—3)3 6 二俣川O

カメラの愛知協会は11月23日 忘れもの の日本対イスラエル 戦(愛知県体育館) でカメラを拾得、落し主を探して いる。お心あたりのかたは「名古屋 市東区東白壁町・県立愛知商業 高校内、愛知ハンドボール協会・ 山田仁止」電052—935—3441」 あて問合せ下さい。

編 底辺拡充 “ミュンヘン での上位入賞”この二つが 来年の日本ハンドボール界 の二大課題であることに誰 も異論のある人はないと思 います。今年もいろんなこ とがありました。

来年が日本のハンドボール界に とっても、ハンドボールファン のみなさんにとっても良いお年であ るように……。

次号は恒例により、1・2月合 併号を1月末にお届けしたいと思 っています。

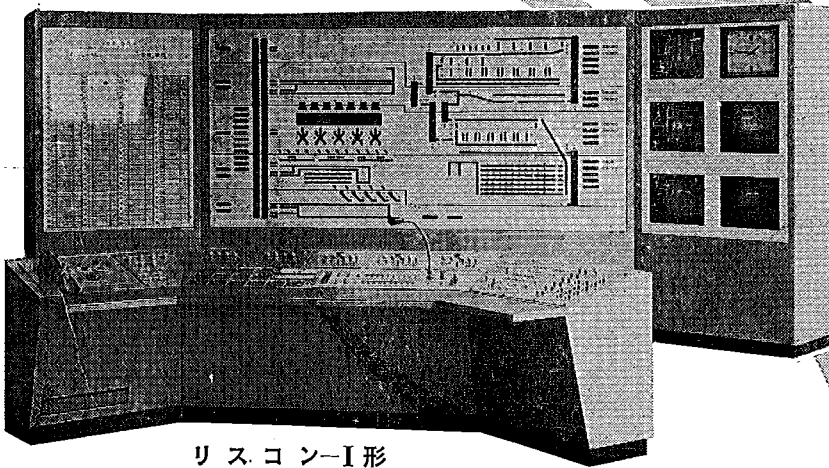
(TF)

— 32 —

Osaki

営業品目

普通電力量計 電流制限器
 精密電力量計 配線用しゃ断器
 誘導形自動電圧調整器 配電盤・分電盤・制御器
 静止形自動電圧調整器 変圧器
 配電線事故捜査器 各種開閉器・しゃ断器
 需要電力遠隔測定装置 数字式テレメーター・データロガー
 電力需用計器用変成器 標準用計器用変成器

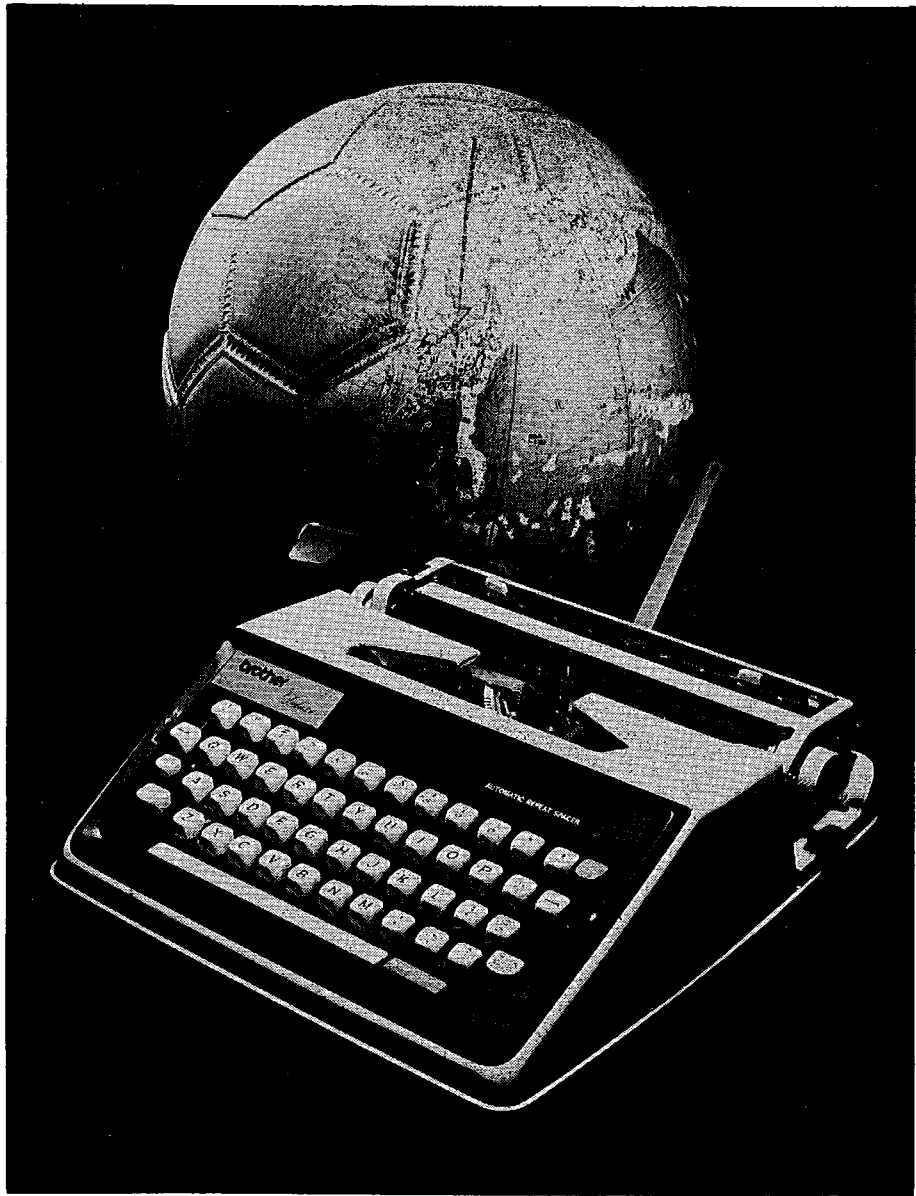


リスコン-I形



大崎電氣工業株式会社

本社及び 141 東京都品川区東五反田2の2の7 電話 (03)443-7171(大代表)
 五反田工場 電信略号 シナガワ」デンキ
 蒲田工場 144 東京都大田区多摩川2の8の1 電話 (03)759-6511(代表)
 埼玉工場 354 埼玉県入間郡三芳町藤久保58 電話 (0492) 58-1205(代表)



世界じゅうのタイプライターの
うち、10台に1台はブラザー製
110カ国に輸出されています。



ブラザー工業株式会社
ブラザーマシン販売株式会社
本社 名古屋市瑞穂区堀田通9の35
TEL 大代表 (811) 2511

スポーツに国境がないように
世界で愛されるブラザータイプライター

日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』

第九十三号

昭和四十年六月七日
昭和四十六年十一月二十五日印刷 発行所
第三種郵便物認可
昭和四十六年十二月一日発行 日本ハンドボール協会

東京 谷区神南一丁目
電話 代表(03)三二二一
振替東京五八三四八番

編集兼 保坂周助
発行人

定価 百五十円
11年間購読 千二百円